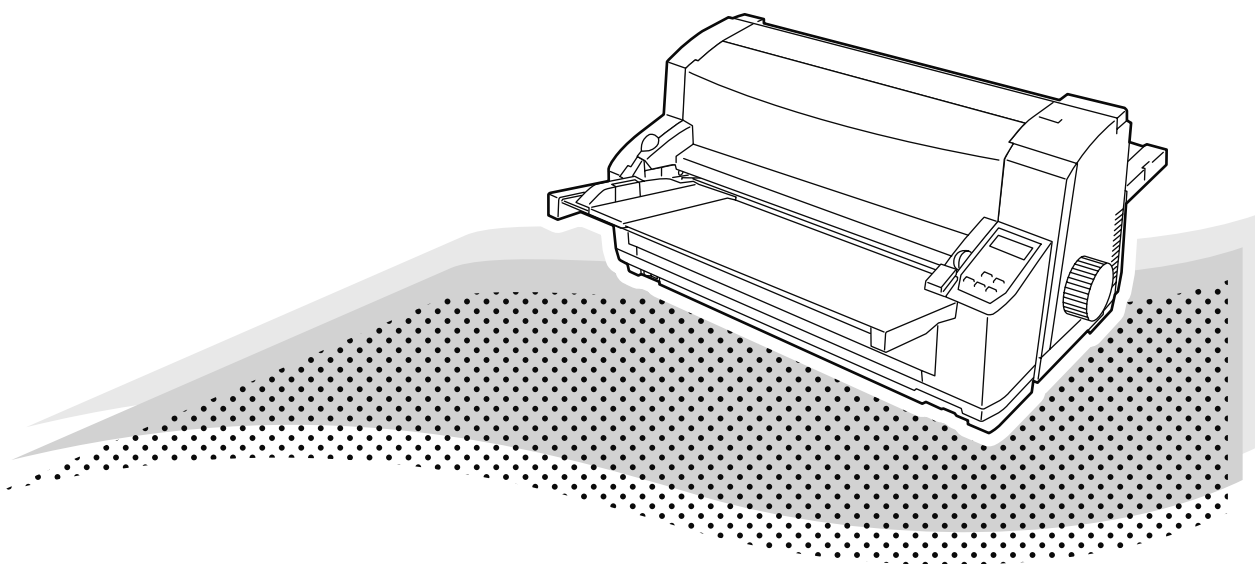
MultiImpact 700 シリーズ

ドットインパクトプリンタ

ユーザーズマニュアル

MultiImpact 700XA
MultiImpact 700XAN
MultiImpact 700JA
MultiImpact 700JAN

853-811124-501-A
初版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルにはプリンタのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**けが**をするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		**体内に入れると有害な**物質であることを示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。**感電**のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による**感電や火災**のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		直射日光を避けてください。**発火**のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて**けが**をするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。**けが**をするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。**けが**をするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。**発火**のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。**火災**のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。**感電や火災**のおそれがあります。
	プリンタを一人で持ち上げないでください。**けが**をするおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。	100V専用	電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。**火災や漏電**のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して**火災や感電**のおそれがあります。		

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容	記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。	チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECドットプリンタMultiImpact 700XA/700XAN/700JA/700JAN（以下、まとめて「MultiImpact 700シリーズ」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引きです。

本マニュアルにはMultiImpact 700シリーズの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、ソフトウェアマニュアルとオンラインマニュアル（プリンタソフトウェアCD-ROM収録）もご覧ください。

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めてMultiImpact 700シリーズをお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、MultiImpact 700シリーズを正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったりしたときは随時このマニュアルを活用してください。

第1章　初めてお使いになるとき

本プリンタの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、プリンタを箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また、本プリンタに用意されている様々なオプションを紹介しています。

第2章　用紙の取り扱い

カット紙、連続紙の取り扱い方法を、用紙のセットを中心に説明しています。

第3章　メニューモードで設定変更する

操作パネル上のスイッチやランプの機能、プリンタが持っている様々な便利な機能を説明しています。

第4章　日常の保守

インクリボンカートリッジの交換やプリンタの清掃手順を説明しています。

第5章　故障かな？と思ったときは

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、プリンタを運搬するときの準備についても記載しています。

付録

プリンタの仕様、用紙の規格、用紙の設計に関する注意事項、印刷範囲に関する情報を記載しています。

MultiImpact 700シリーズにはユーザーズマニュアルのほかに「ソフトウェアマニュアル」、「オンラインマニュアル」「プリントサーバオンラインマニュアル」があります。併せてご活用ください。

MultiImpact 700シリーズの特長

MultiImpact 700シリーズの特長を簡単に説明します。

- USBインタフェースに対応

  オプションのUSB-パラレル変換ケーブルを使用することで、USBインタフェースでの印刷が可能です。

- PrinterSignalStation、リモートパネル

  プリンタの状態（用紙なし、エラーなど）や印刷の進行状況を確認することができます。またプリンタの各種設定をコンピュータの画面上で行うことができます。PrinterSignalStation、リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 各種ネットワークに対応

  MultiImpact 700XAN/700JANは標準で、MultiImpact 700XA/700JAはオプションでTCP/IPに対応したLANボードを装着することができます。

- 7色のカラー印刷

  カラーインクリボンカートリッジを使用することにより、7色のカラー印刷を行うことができます。

- 自動印刷位置補正機能

  従来ペーパガイドを使って行っていた印刷位置の調整を自動で行うことができる機能です。

- 自動カット位置送り機能

  連続紙の印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。この機能を使えば、スピーディに用紙をカットすることができます。

- 自動用紙厚調整機能

  用紙の厚さに応じて印刷ヘッドと用紙の間隔を自動的に調整する機能です。この機能により用紙の厚さを意識せずに常に良好な印刷結果を得ることができます。

- バーコード印刷

  MultiImpact 700シリーズは、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタマバーコードの印刷ができます。

- 各種用紙に印刷可能

  MultiImpact 700シリーズは、はがきからA3サイズまでのカット紙、連続紙のほか複写式用紙やラベル紙など様々な用紙＊[1] に印刷することができます。

＊1　付録「用紙の規格」参照。

目次

安全にかかわる表示 ii
はじめに v
マニュアルの構成 v
MultiImpact 700シリーズの特長 vi
目次 vii

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて 1
安全上のご注意 2

1章　初めてお使いになるとき..5

取り扱い上の注意 6
設置に必要なスペース 7
設置してはいけない場所 8
箱の中身を確認する 9
　別売品 10
　　オプション 10
　　消耗品 12
各部の名称を確認する 13
保護用部品を取り除く 14
シートガイドを取り付ける 15
スタッカを取り付ける 16
電源コードを接続する 17
電源をONにする 17
インクリボンカートリッジを取り付ける 18
テスト印刷をする 21
コンピュータに接続する 23
ネットワークに接続する 24

2章　用紙の取り扱い 25

給紙方法の選択 25
連続紙のセット 27
　連続紙のセットと吸入 27
　連続紙の排出とスタック 29
　連続紙を取り除く 29
連続紙のカット 30
　カット機能を使う 30
カット紙のセットと吸入 32
カット紙の排出 34
　シートガイドに排出する 34
　スタッカに排出する 34
カット紙と連続紙の切り替え 35
　連続紙からカット紙への切り替え 35
　カット紙から連続紙への切り替え 36

3章　操作パネルとメニューモード 37

スイッチの基本機能 38
　スイッチの応用機能 39
　ランプの表示 40
　ディスプレイの表示 40
メニューモード 42
　メニューツリー 42
スペシャルメニューモード 44
　メニューツリー 44
設定内容のリセット 46
メモリスイッチ設定モード 47

4章　日常の保守 51

インクリボンカートリッジの交換 51
インクリボンの交換方法 53
プリンタの清掃 54

5章　故障かな？と思ったときは 55

エラー表示が出ているときは 56
エラー表示が出ていないのにおかしいときは 58
紙づまりの処理 61
保証および修理の依頼について 63
お客様登録の方法 63
保証について 63
修理に出される前に 64
保守サービスについて 64
プリンタの寿命について 64
有寿命部品（有償）について 65
補修用性能部品について 65
情報サービスについて 65
プリンタを運搬するときは 66
プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について 67
プリンタの廃棄について 67
インクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について 67

付録 69

仕様 69
用紙の規格 73
用紙サイズと坪量 73
用紙のセット方向 74
用紙の種類と複写枚数 74
複写枚数と坪量（連量） 75
保管上の注意 76
連続紙の置き方 76
封筒に印刷するときの注意 77
印刷範囲 78
カット紙 78
カット紙に関する注意 79
連続紙 79
連続紙に関する注意 80
はがき 81
はがきに関する注意 81
封筒 82
用紙設計に関する注意事項 83
カット紙に関する注意 83
普通紙について 83
複写式のカット紙について 84
連続紙に関する注意 84
普通紙について 84
複写式の連続紙について 85
封筒用紙に関する注意 87
ラベル紙（タック紙）に関する注意 89
プレプリント用紙に関する注意 90

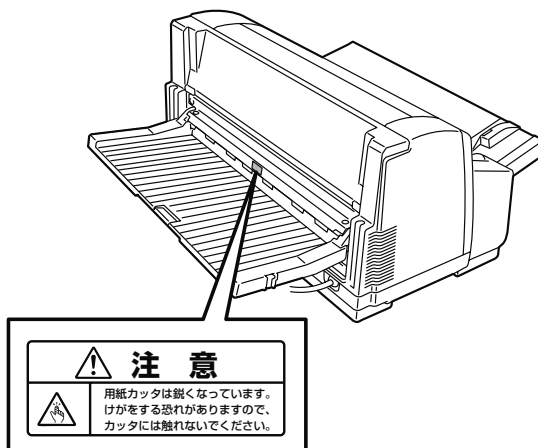
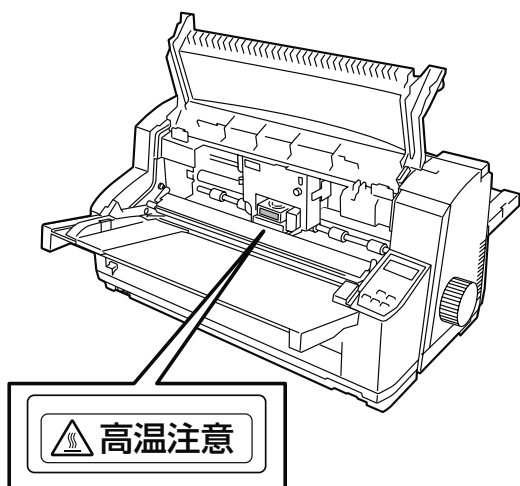
索引 91

安全にお使いいただくために

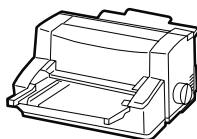
警告ラベルについて

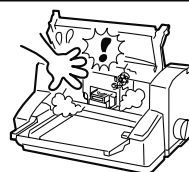
MultiImpact 700シリーズプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

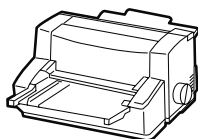
警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡ください。

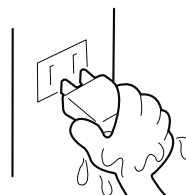
これらの警告内容については、次の項目「安全上のご注意」で説明しますが、本書内の該当する操作手順中でも随時説明しています。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源をOFFにする

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注 意

高温注意

プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

プリンタ内に異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

ほこり・湿気の多い場所で使用しない

・プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
・プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

インクリボンをなめたりしない

・インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。
・インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。
・万が一、目に入った場合は、水で洗い流し、眼科医の手当てを受けてください。

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

プリンタを一人で持ち上げない

プリンタや添付品を含んだ購入時の梱包箱の質量は、約28kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。持ち運ぶときは二人以上で持ってください。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

不安定な場所に置かない

プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると、プリンタが異常動作したり、内部の温度が上がり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンタの近くで携帯電話等を使用しない

携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない

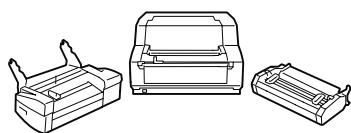
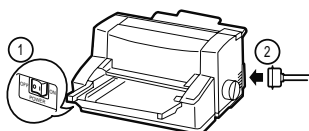
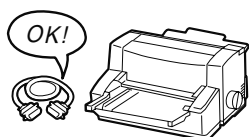
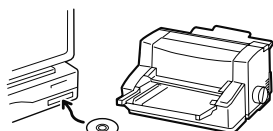
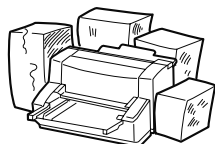
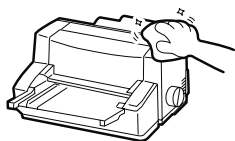
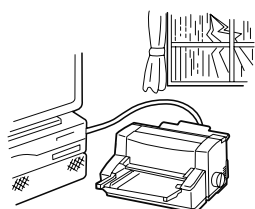
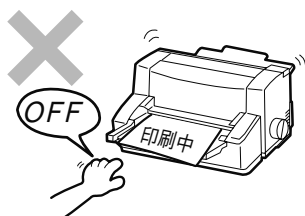
壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

1章 初めてお使いになるとき

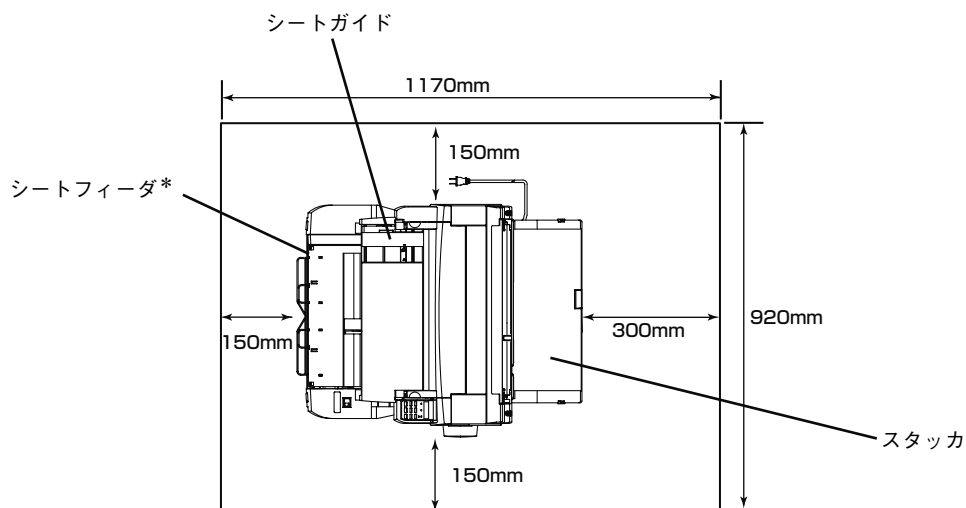
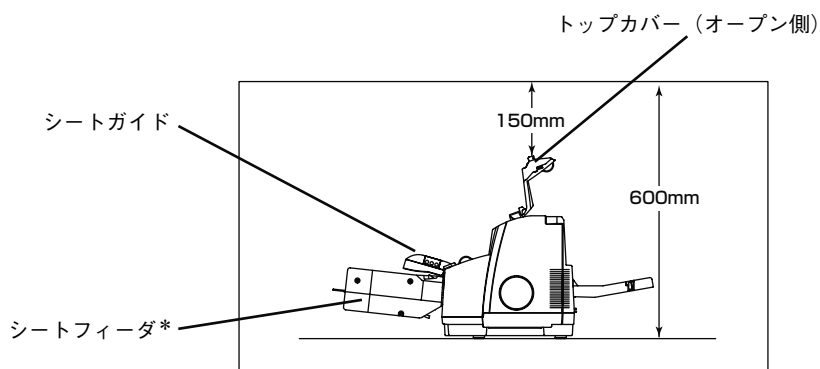
この章では、プリンタの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピュータに接続するまでを以下の手順で説明します。

1 箱の中身を確認する
2 各部の名称を確認する
3 保護用部品を取り除く
4 シートガイドを取り付ける
5 スタッカを取り付ける
6 電源コードを接続する
7 電源をONにする
8 インクリボンカートリッジを取り付ける
9 テスト印刷をする
10 コンピュータに接続する
11 ネットワークに接続する

取り扱い上の注意

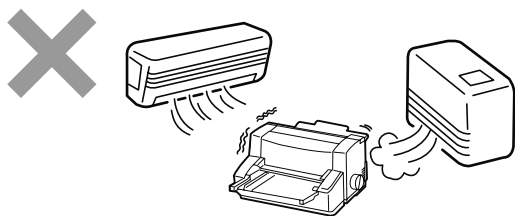
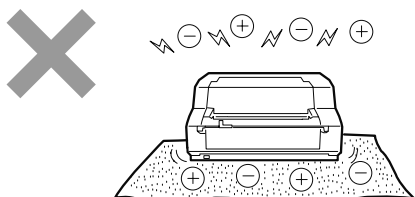
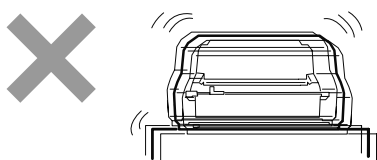
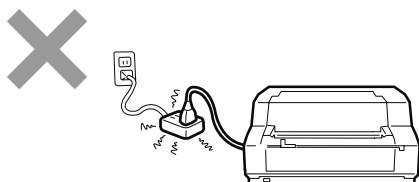
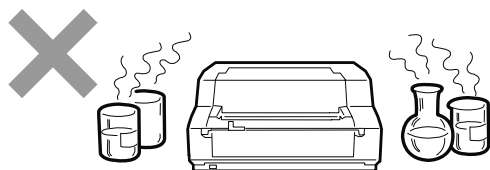
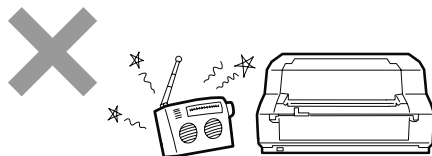
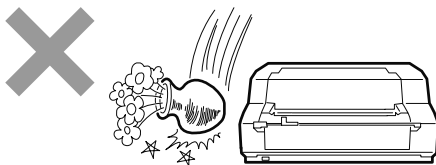
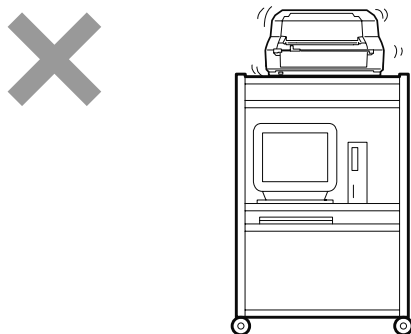
プリンタを正しく安全に活用していただくために、次のことをお守りください。

オプションはMultiImpact 700シリーズ専用のものをお使いください。専用でないものは、たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。(型番などについては「オプション」(10 ページ) を参照してください。)

プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行うときは、電源をOFFにしてから行ってください。電源が入ったまま行うと誤動作や故障の原因となります。

ご用意いただいたプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。

プリンタドライバは、MultiImpact 700シリーズに添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに入っているものをインストールしてください。

プリンタの背面の排気孔をふさがないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなると、正しく動作しなくなることがあります。

定期的にプリンタを清掃してください。清掃の方法については4章「プリンタの清掃」(54 ページ) を参照してください。

落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

印刷中は電源をOFFにしないでください。故障の原因となります。

設置に必要なスペース

MultiImpact 700シリーズに必要なスペースは次のとおりです。プリンタを安全で快適にご使用いただくために、十分なスペースを確保して風通しのよい場所に設置してください。図は、オプションのシートフィーダを実装した場合に必要となるスペースの例です。

プリンタ上面

＊　オプションです

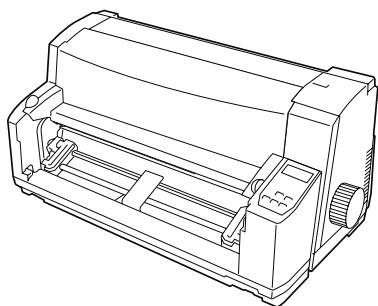
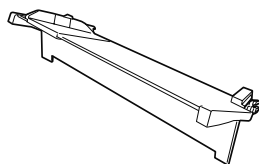
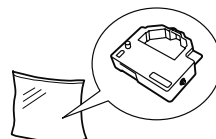
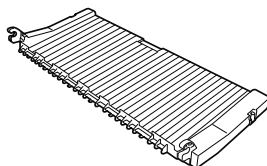
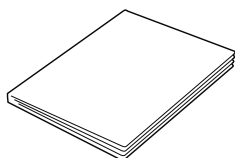
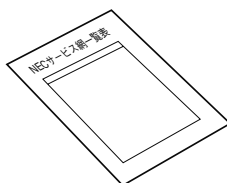
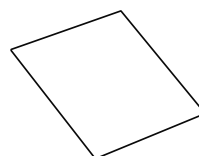
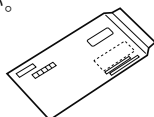
プリンタ右側面

設置してはいけない場所

温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

電源の延長コードは使用しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しないことがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。

プリンタを縦型OAラック等の上段など不安定な場所に置かないでください。けがのおそれや周囲の破損の原因となることがあります。

1 箱の中身を確認する

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

チェック

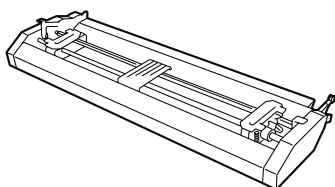
- プリンタとコンピュータを接続するプリンタケーブルは本プリンタには付属していません。プリンタケーブルは別途お買い求めください。プリンタケーブルについては「プリンタケーブル」（11 ページ）をご覧ください。
- 梱包材（箱や緩衝材など）はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

別売品

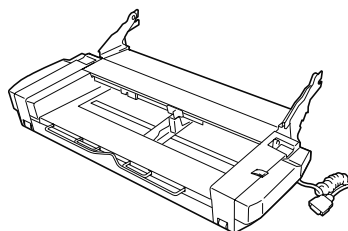
ご購入にあたりましては、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

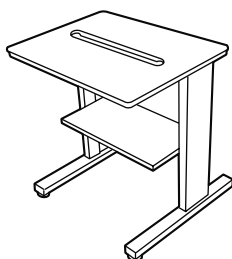
オプションの詳しい説明については、オンラインマニュアルをご覧ください。

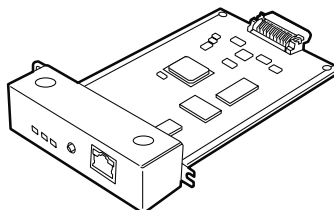
リアトラクタフィーダ（型番　PR-D700XA-03）

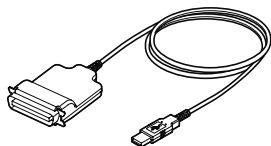
連続紙を後ろから給紙することができます。リアトラクタフィーダを使うことによりフロントトラクタフィーダと合わせて2種類の連続紙を切り替えて使用することができます。

シートフィーダ（型番　PR-D700XA-04）*

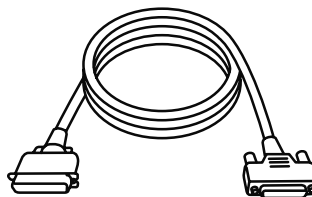
カット紙やはがきを自動的に給紙します。
カット紙を約280枚までセットできます（A4サイズの用紙で坪量64.0g/m^2（連量55kg）の場合）。
複写式用紙は5枚綴りのものを約60組までセットできます（A4サイズの複写式用紙の場合）。
1度にセットできる用紙は1種類のみです。

*　シートフィーダを構成する部品のうち、「ラバーホルダL Assy」は有寿命部品（有償）です。

プリンタ卓（型番　PR-D201X-09A）

プリンタを置く台です。

プリントサーバ（LANボード）（型番　PR-NP-16）

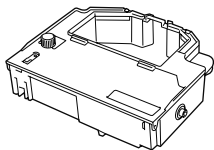
100BASE-TX、10BASE-Tインタフェースを装備しているプリンタ内蔵型のLANボードです。LANボードに関する詳細についてはプリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

USB-パラレル変換ケーブル
(型番　PR-NP-U01)

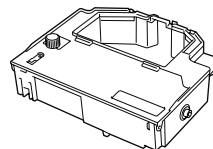
USBインタフェースでの印刷に使用するケーブルです。

プリンタケーブル
(型番　PC-PRCA-01（1.5m)、型番　PC-CA205（4m))

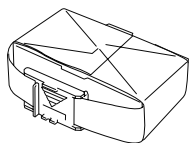
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）に対応したケーブルです。

- コンピュータ本体とプリンタの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、USBハブなどを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はオプションのLANボード（MultiImpact 700XAN/700JANは標準搭載）と専用のネットワークケーブルが必要です。
- 対応OSについての最新情報はカタログや情報サービス（65ページ参照）で提供しています。

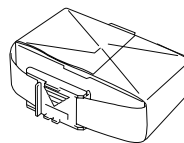
消耗品

ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）
（型番　PR-D700XX2-01）

黒単色印刷のための長寿命インクリボンカートリッジです（プリンタ購入時に1個標準添付されています）。

カラーインクリボンカートリッジ
（型番　PR-D700XX2-11）

カラー印刷のための4色インクリボンカートリッジです。

交換用ロングライフインクリボン（黒）
（型番　PR-D700XX2-02）

インクリボンカートリッジ（黒）（PR-D700XX2-01)用の交換用インクリボンです（2個入り）。

交換用カラーインクリボン
（型番　PR-D700XX2-12）

カラーインクリボンカートリッジ (PR-D700XX2-11)用の交換用インクリボンです（2個入り）。

ロングライフインクリボンカートリッジセット（黒）
（型番　PR-D700XX2-06）

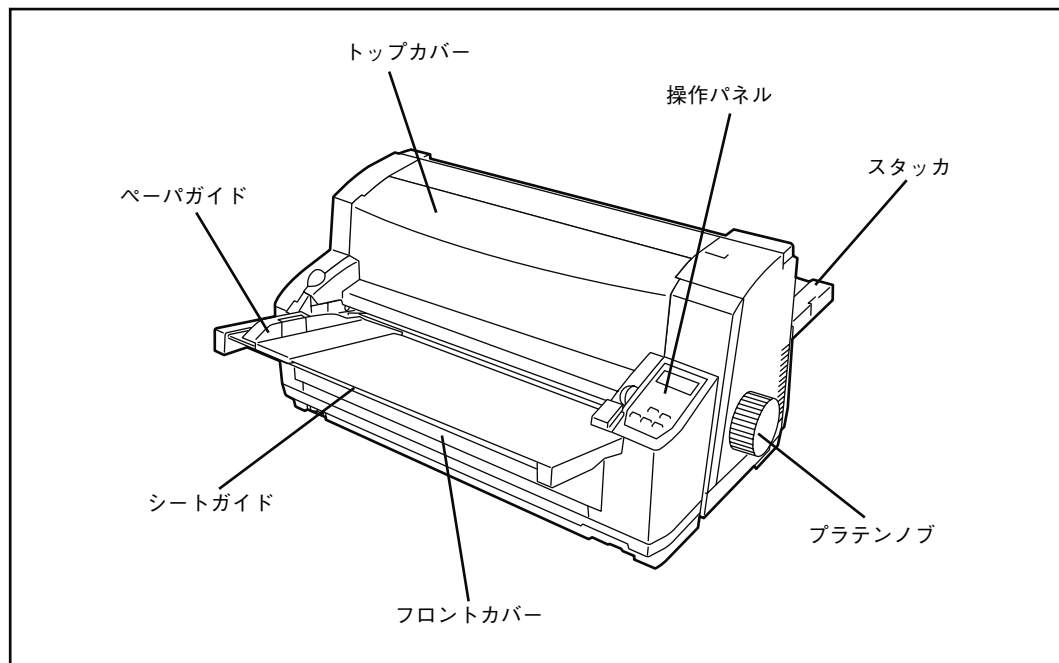
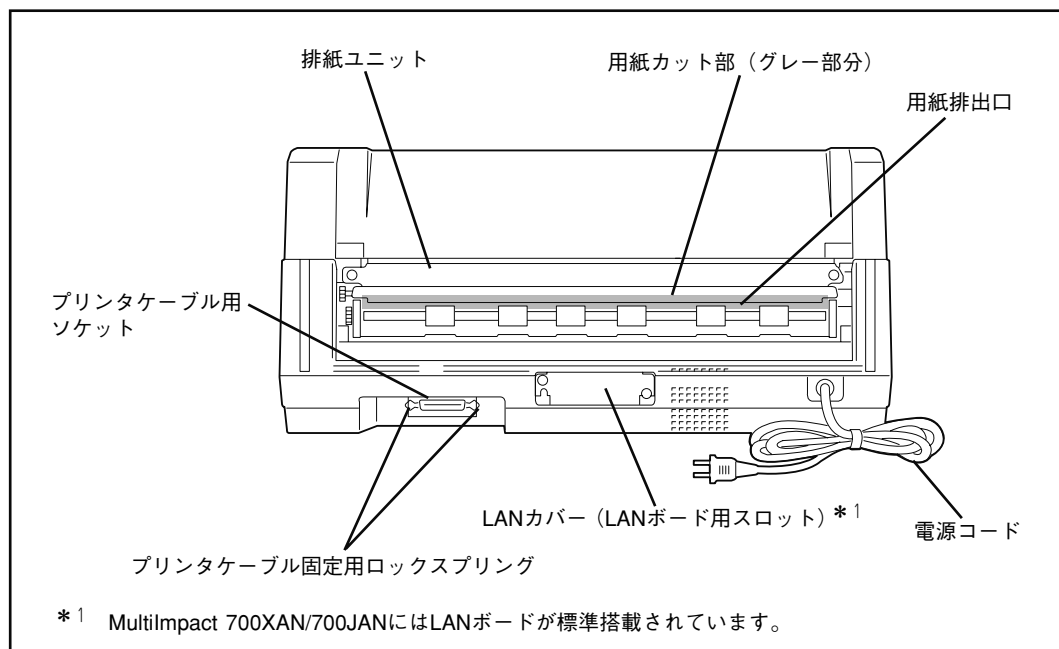
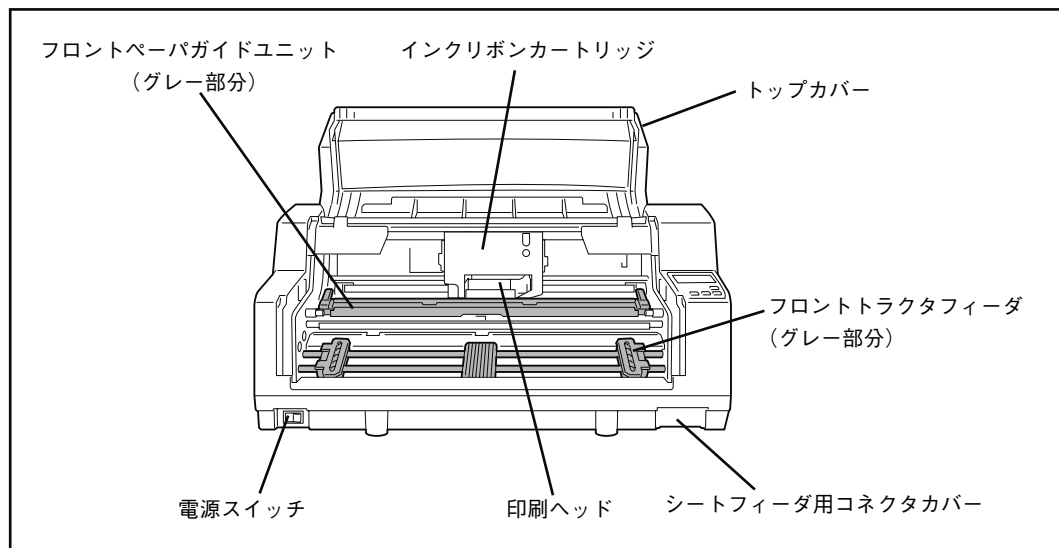
ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）（PR-D700XX2-01）と交換用ロングライフインクリボン（黒）（PR-D700XX2-02）を組み合わせたセットです。

カラーインクリボンカートリッジセット
（型番　PR-D700XX2-16）

カラーインクリボンカートリッジ(PR-D700XX2-11）と交換用カラーインクリボン（PR-D700XX2-12）を組み合わせたセットです。

- 本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジ、インクリボンは使用期限内にお使いください。
- それぞれの可能印刷数は、「付録」の70ページの表をご覧ください。

2 各部の名称を確認する

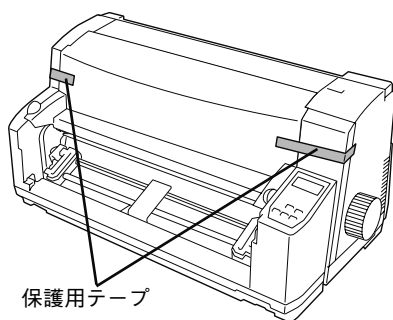
プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

プリンタ前面

プリンタ背面

プリンタ内部（前面）（シートガイドを取り外した状態）

3 保護用部品を取り除く

プリンタ本体には保護用部品が取り付けられています。保護用部品は運搬時の衝撃からプリンタを守るためのもので、プリンタを使用するときは必要ありません。

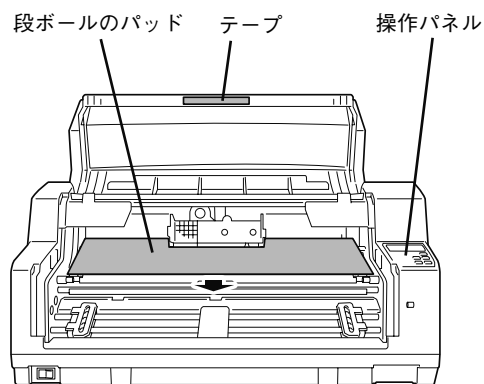
❶ **プリンタ背面の用紙排出口にある保護シート（厚紙）を取り除く。**

❷ **図に示す2か所のテープを取り除く。**

❸ **左右のつまみを持ってトップカバーを開ける。**

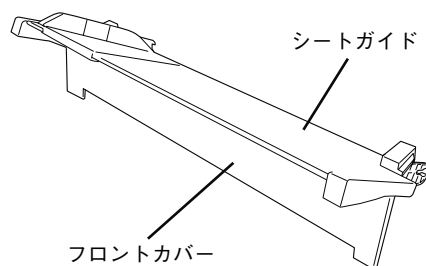
❹ **段ボールのパッドとテープを取り除く。**

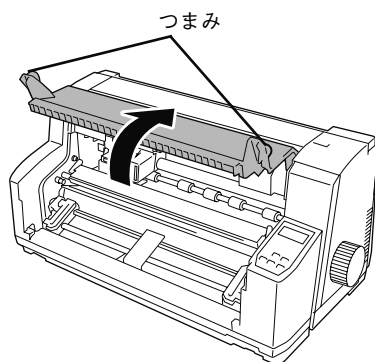
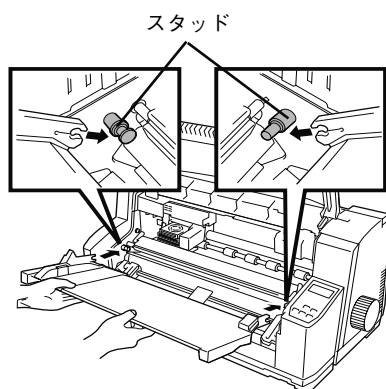
印刷ヘッドの上にある段ボールのパッドを手前に引いて抜き取ります。

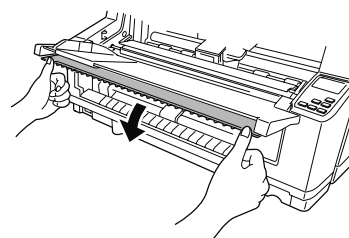
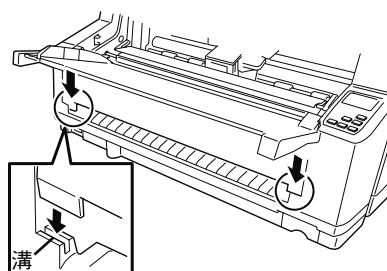
トップカバー前面に付いているテープを取り除きます。

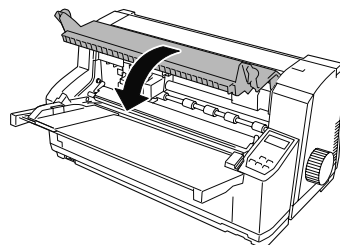
段ボールのパッドは運搬のときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

❺ **操作パネルに貼られている薄い透明の保護フィルムをはがす。**

4 シートガイドを取り付ける

シートガイドは、カット紙を1枚ずつ手差しでセットするときに使います。シートガイドに付いているフロントカバーは、プリンタ内にほこりなどが入るのを防ぐためのものです。

❶ **トップカバーを開ける。**

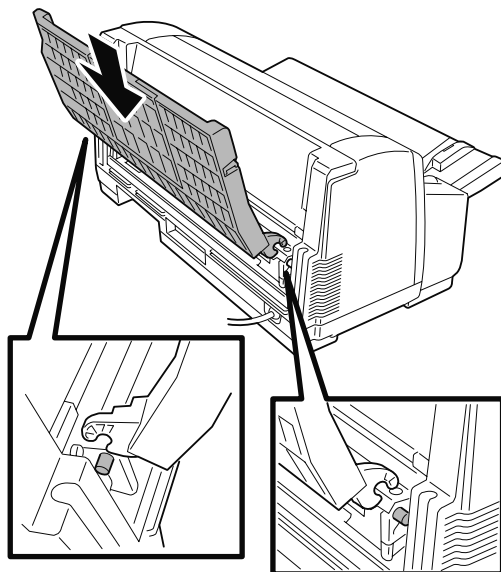
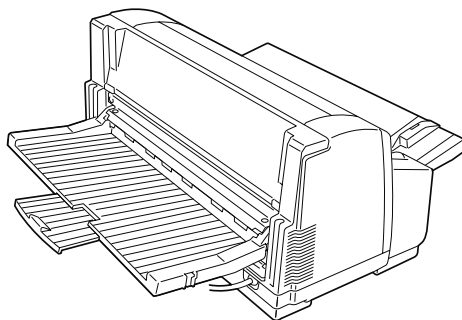
トップカバーの左右のつまみを持って開きます。

❷ **プリンタ本体の左右のスタッド（突起）にシートガイドを押し込む。**

❸ **フロントカバーを下ろす。**

フロントカバーは、親指で軽く下に押せばシートガイドから外れます。

❹ **フロントカバーを軽く押し上げ、プリンタ本体左右の溝に収める。**

❺ **トップカバーを閉める。**

左右のつまみを持ってトップカバーを下ろし、軽く押さえてロックさせます。

5 スタッカを取り付ける

スタッカは、印刷した用紙を受け止めるところです。

坪量64g/m2（連量55kg）の用紙なら100枚までスタッカに受け止める（スタックする）ことができます。

プリンタ本体背面の左右のスタッドにスタッカを取り付けてください。

スタッカ手前部のセカンドスタッカを引き出すとスタッカを延長できます。A3用紙を排出するときなどにお使いください。

取り付け完成図

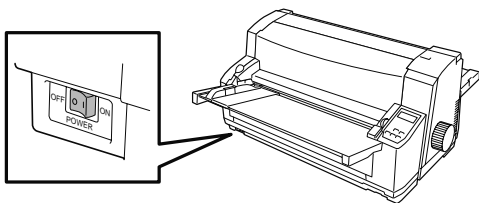
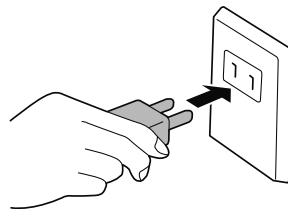
用紙をスタッカの上に長時間載せたままにしないでください。またスタッカに重いものを載せたり寄りかかったりしないでください。スタッカが破損したりフレームが変形したりするおそれがあります。

6 電源コードを接続する

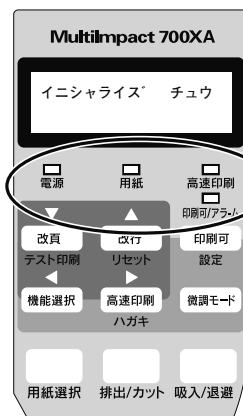
⚠ 注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- コンピュータ本体の補助コンセントには接続しないでください。
- たこ足配線はおやめください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお近くの販売店または保守サービス会社に修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。

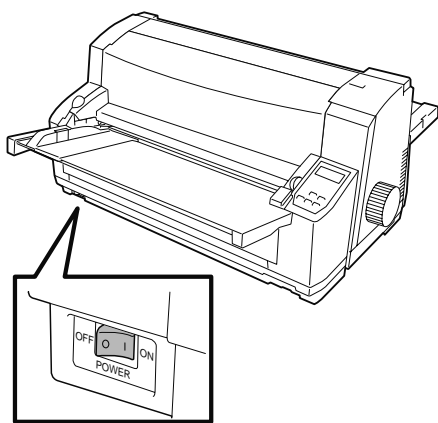
❶ **プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

❷ **電源コードのプラグをコンセントに差し込む。**

7 電源をONにする

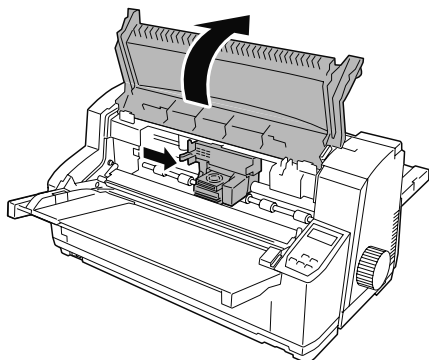
❶ **トップカバーが閉じていることを確認し、プリンタの電源スイッチをONにする。**

一瞬操作パネルのすべてのランプが点灯し、ディスプレイに“イニシャライズ゛　チュウ”と表示されます。

8 インクリボンカートリッジを取り付ける

重要

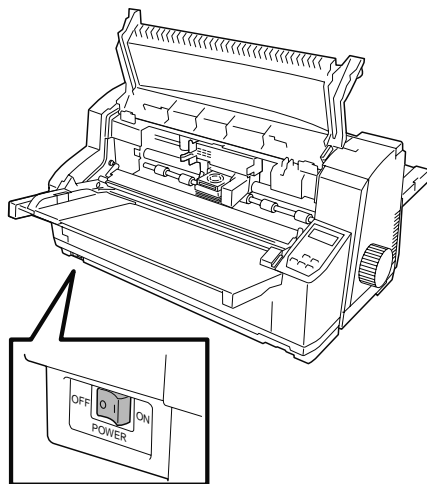
本プリンタはNEC指定消耗品を使用時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用された場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品はNEC指定品のご使用をお勧めします。

❶ **プリンタの電源スイッチがONになっていることを確認する。**

❷ **トップカバーを開ける。**

印刷ヘッドとカードホルダが中央に移動します。

注意

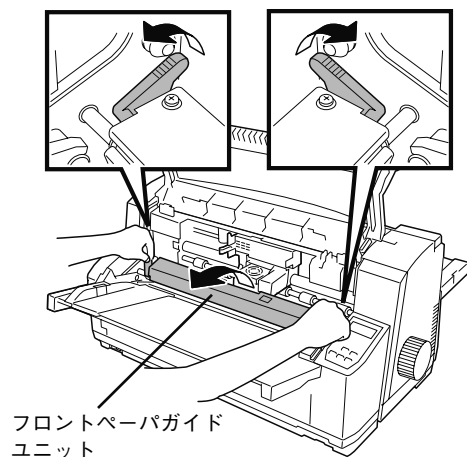
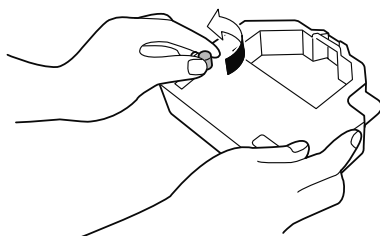
印刷ヘッドとカードホルダが移動し終わるまでは、プリンタ内部には手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

❸ **トップカバーを開けたまま、プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

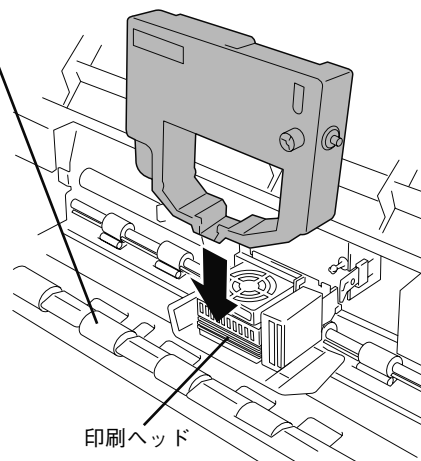
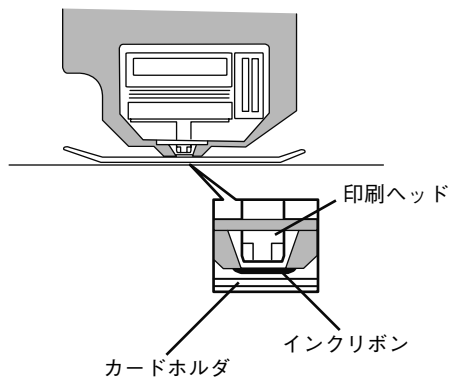
印刷ヘッドが中央に移動したままになります。

注意

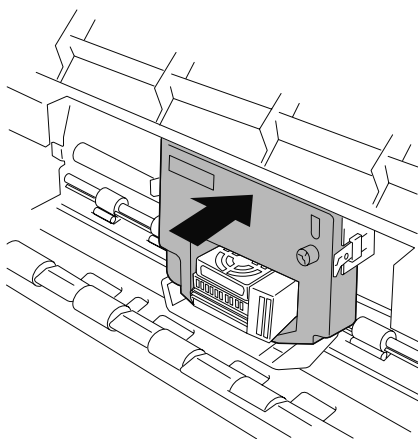
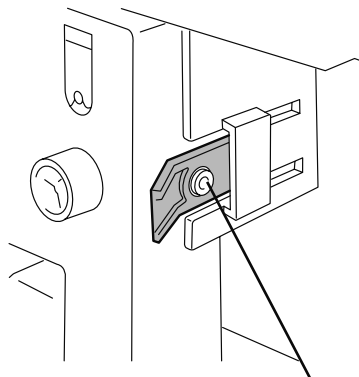
プリンタの電源スイッチをONにしたまま、インクリボンカートリッジを交換しないでください。プリンタが突然動き出し、けがをするおそれがあります。

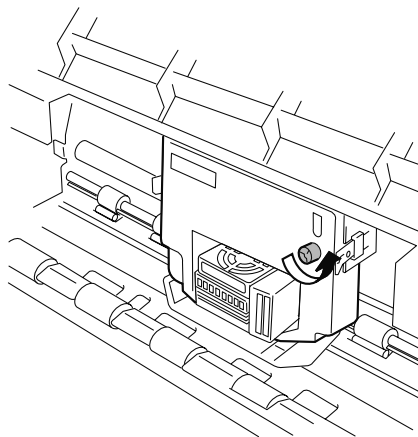
❹ フロントペーパガイドユニットを開ける。

左右の緑色のレバーを引きながら、手前に回します。

❺ インクリボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回してたるみをとる。

チェック

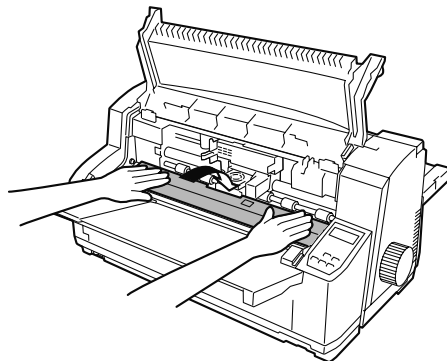
たるんだまま取り付けると、印字欠けやピン折れなど発生する場合がありますので十分気をつけてください。

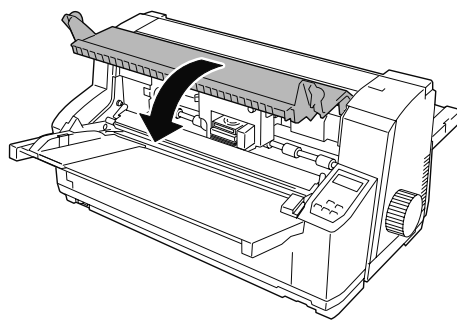
❻ インクリボンカートリッジを図に示す向きにして持ち、先端リボン部分をフロントペーパガイドユニットと印刷ヘッドの間に入れる。

インクリボンがカードホルダと印刷ヘッドの間に入っていることを確認します。

7 「カチッ」と音がするまで矢印の方向に押し込む。

インクリボンカートリッジの先端リボン部分が、よじれないように気をつけてください。

8 カートリッジホルダの左右にあるツメの丸穴に、インクリボンカートリッジの左右にある丸い突起が入っていることを確認する。

9 フィードノブを回してインクリボンが軽く動くことを確認する。

動かないときは手順5からもう一度やり直してください。

10 フロントペーパガイドユニットを元に戻す。

「カチッ」と音がするまで、押してください。

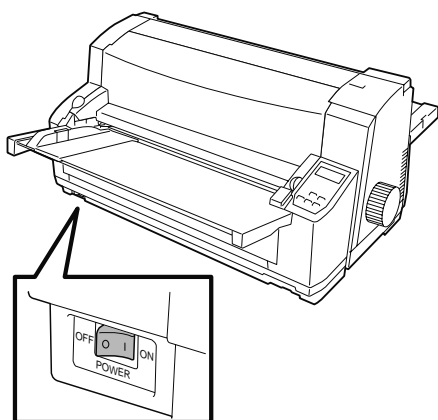
フロントペーパガイドユニットは最後まで戻してください。中途半端な状態だと用紙を正常に送ることができません。

11 トップカバーを閉める。

これでインクリボンカートリッジの取り付けは終了です。

9 テスト印刷をする

MultiImpact 700シリーズが正常に動作することを確かめるために、テスト印刷を行います。
テスト印刷には約381mm（15インチ）幅以上の連続紙、またはB4サイズ以上のカット紙を横置きにして使用します。ここでは、B4サイズのカット紙を使う場合を例にとってテスト印刷の手順を説明します。
このテスト印刷は第5章の「故障かな？と思ったときは」（55ページ）の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

重要

カット紙にテスト印刷をする場合は、以下の説明に示すとおり、シートガイドを使用してください。連続紙にテスト印刷をする場合は、フロントトラクタフィーダを使用してください（「連続紙のセットと吸入」（27 ページ）を参照）。

1 プリンタの電源スイッチをONにする。

2 ディスプレイに“シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

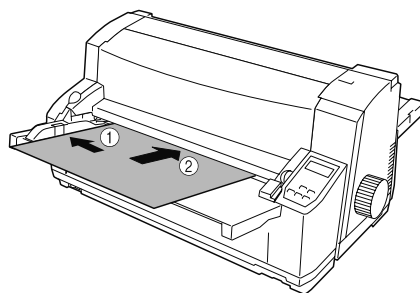
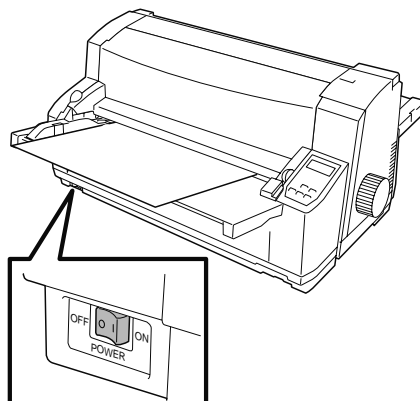
用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

3 B4用紙を横置きにセットする。

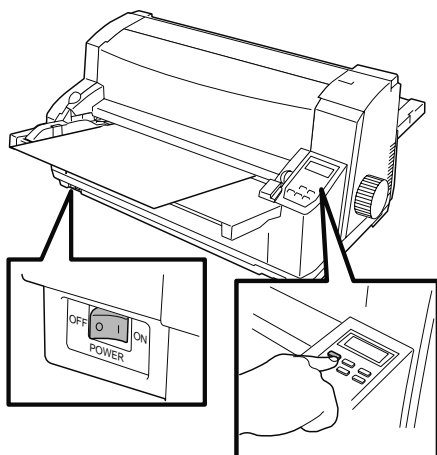
用紙の印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込んでください。

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

カット紙のセットについての詳細は「カット紙のセットと吸入」（32 ページ）を参照してください。

4 プリンタの電源スイッチをOFFにする。

❺ ［改頁］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに“テスト　インサツ”と表示されたら、スイッチから手を放します。

用紙がなくなると、用紙ランプが点灯し、テスト印刷が中断します。テスト印刷を終了させるときは手順6に進んでください。

テスト印刷を続けたいときは、新しい用紙をセットし、吸入させてください。自動的にテスト印刷を再開します。

テ	ス	ト		イ	ン	サ	ツ								

❻ テスト印刷を終了させる。

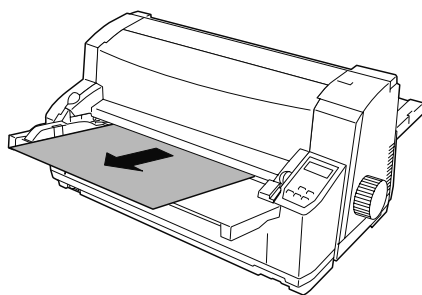
［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押してください。

✔チェック

テスト印刷は強制的に終了しない限り続けて行われます。

❼ ［排出/カット］スイッチを押して用紙を排出する。

❽ テスト印刷が終わったら、オンラインマニュアルの「テスト印刷サンプル」を参照して印刷の状態を確認する。

もし文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたりしたときは、「8　インクリボンカートリッジを取り付ける」（18ページ）に従ってインクリボンカートリッジを取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い求めの販売店またはサービス窓口に連絡してください。

✔チェック

- テスト印刷中に［印刷可］スイッチを押すとテスト印刷が中断します。もう一度［印刷可］スイッチを押すとテスト印刷が再開します。
- 途中で用紙がなくなった（用紙ランプ点灯）場合は、そのまま新しい用紙をセットしてください。続きが印刷されます。
- テスト印刷はプリンタに内蔵している様々な書体を印刷します。ひと通りテスト印刷が完了した後、そのまま続けると再び「明朝体漢字」からテスト印刷を始めます。
- ［機能選択］スイッチで、印刷する書体を切り替えることができます。

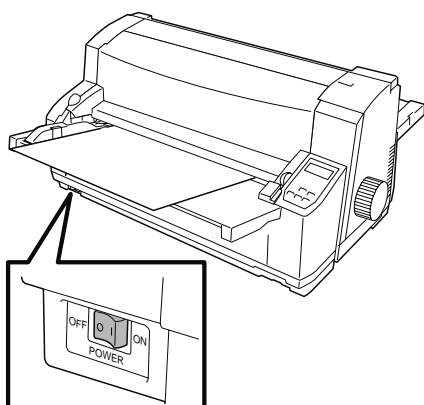
10 コンピュータに接続する

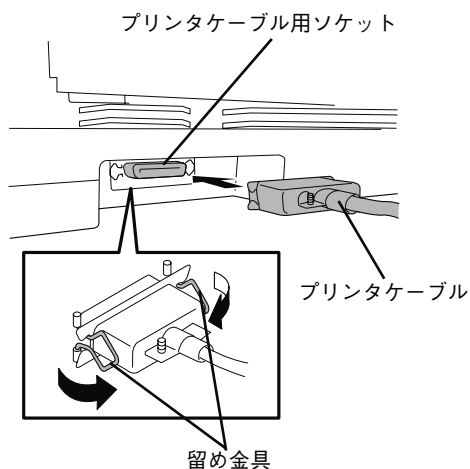
MultiImpact 700シリーズにはプリンタケーブルが付属しておりません。プリンタをコンピュータに接続するには別売のプリンタケーブルをお買い求めいただく必要があります。

プリンタケーブルのタイプは、コンピュータによって異なります。本プリンタを接続するコンピュータに合ったプリンタケーブルを販売店でお求めください。詳細についてはオンラインマニュアルを参照してください。

オプションのUSB-パラレル変換ケーブルをご使用の際は、“プリンタケーブル”を“USB-パラレル変換ケーブル”に読み替えてください。

❶ **プリンタおよびコンピュータの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

電源スイッチがONになっている場合はOFFにしてください。

❷ **プリンタにプリンタケーブルを接続する。**

ケーブルが外れないようにソケットの外側の留め金具で固定します。

❸ **コンピュータにプリンタケーブルを接続する。**

詳しくはコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1 初めてお使いになるとき

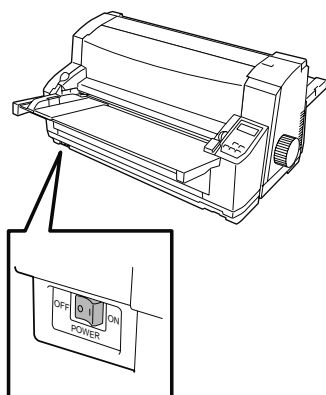
11 ネットワークに接続する

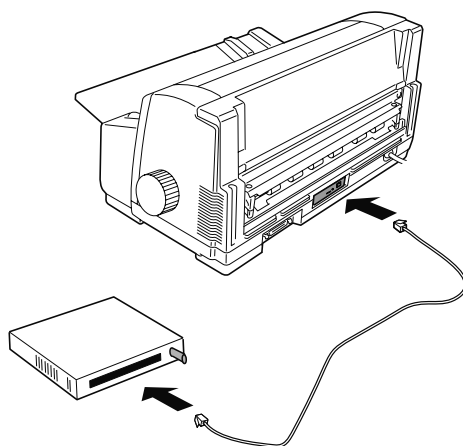
次の手順でMultiImpact 700XAN/700JANをネットワークに接続します。MultiImpact 700XA/700JAの場合はオプションのLANボードを取り付けてから以下の手順を行ってください。LANボードの取り付けに関してはソフトウェアCD-ROMに同梱されているプリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

チェック

- 100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE-TX 対応のイーサネットハブ（HUB）とネットワークケーブル（カテゴリ5以上)、10BASE-T環境でお使いの場合は、カテゴリ3以上のネットワークケーブルをご用意ください。
- LANインターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

❶ プリンタの電源スイッチをOFFにする。

プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。OFFになっていることを確認してください。

❷ LANボードのネットワークポート（10BASE-T/100BASE-TX）にネットワークケーブルを接続する。

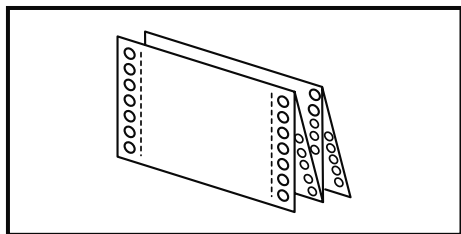
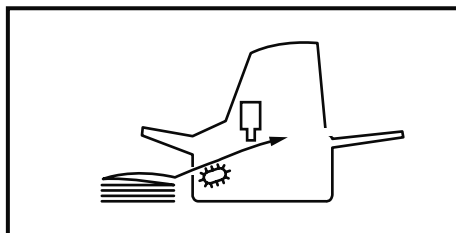
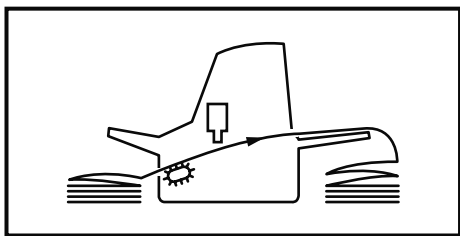
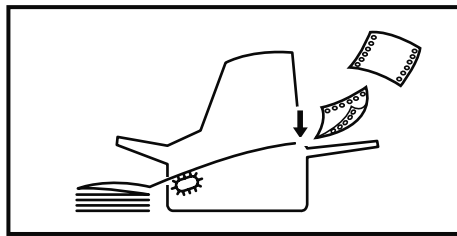
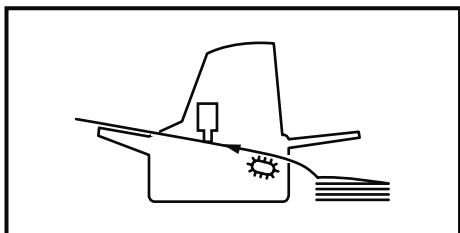
❸ イーサネットハブ（HUB）に、ネットワークケーブルのもう一方を接続する。

2章
用紙の取り扱い

この章では、用紙のセット方法について説明します。

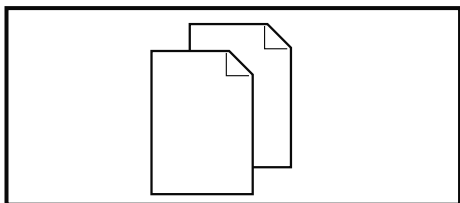
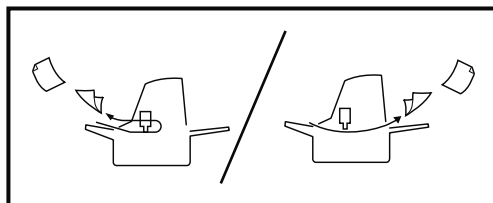
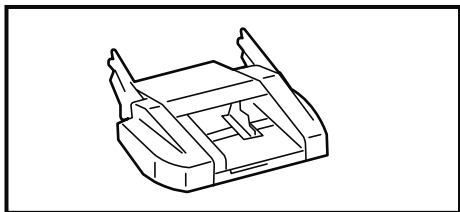
印刷する用紙が決まったら、適切な給紙方法を選んでください。

給紙方法の選択

連続紙に印刷したい（普通紙、複写式用紙、ラベル紙）

連続紙に印刷する場合、フロントトラクタフィーダに用紙をセットする方法とリアトラクタフィーダ（オプション）に用紙をセットする方法があります。

- 使用できる連続紙の確認.....73ページ
  お手持ちの連続紙が本プリンタで使用できるものであることを確認してください。

- 連続紙のセットと吸入........ 27ページ
  フロントトラクタフィーダに連続紙をセットし、吸入させるまでの手順を説明します。

- 連続紙の排出とスタック..... 29ページ
  印刷が終わった連続紙の排出･スタックについて説明します。

- 連続紙のカット 30ページ
  印刷が終わった連続紙をミシン目まで送り、手でカットするまでの手順を説明します。

- リアトラクタフィーダへの連続紙のセットと吸入........................... オンラインマニュアル
  オプションのリアトラクタフィーダ（オプション）を使用すれば一度に2種類の連続紙をセットし、交互に使い分けて印刷することができます。

カット紙に印刷したい（普通紙、複写式用紙）

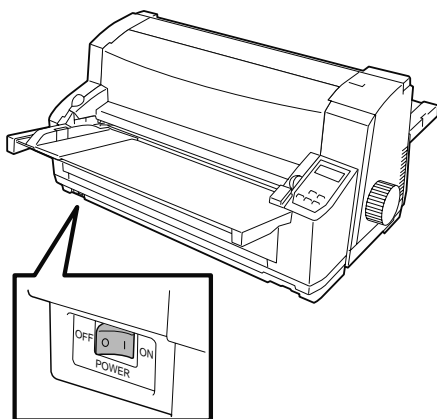
カット紙に印刷する場合、シートガイドから用紙をセットする方法とシートフィーダ（オプション）から用紙をセットする方法の2種類があります。一枚ずつ印刷する場合はシートガイド、一度に何枚も印刷する場合はシートフィーダにセットする方法が適しています。

- カット紙のセット 32ページ
  シートガイドにカット紙をセットする方法について説明します。

- カット紙の排出 34ページ
  カット紙の排出方法について説明します。はがき、往復はがき、封筒についても排出方法は同じです。

- シートフィーダを使ってカット紙を印刷する........................... オンラインマニュアル
  シートフィーダを使ってカット紙、はがき、往復はがき、封筒に印刷する場合はこちらをご覧ください。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

はがきや封筒に印刷する場合、シートガイドからセットする方法とシートフィーダ（オプション）から用紙をセットする方法の2種類があります。一枚ずつ印刷する場合はシートガイド、一度に何枚も印刷する場合はシートフィーダにセットする方法が適しています。詳しくはオンラインマニュアルをご覧ください。

連続紙のセット

連続紙をプリンタ前面から自動で給紙し、プリンタ背面に排出する方式です。次の手順で連続紙をフロントトラクタフィーダにセットし、プリンタ内に吸入します。

連続紙のセットと吸入

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

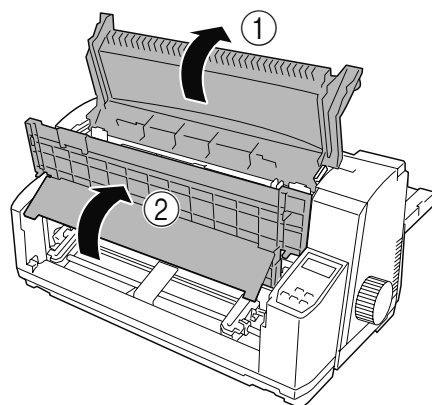
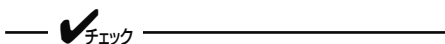
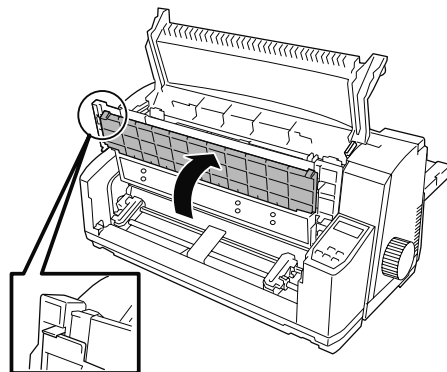
❷ **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　フロントトラクタフィーダ゛”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

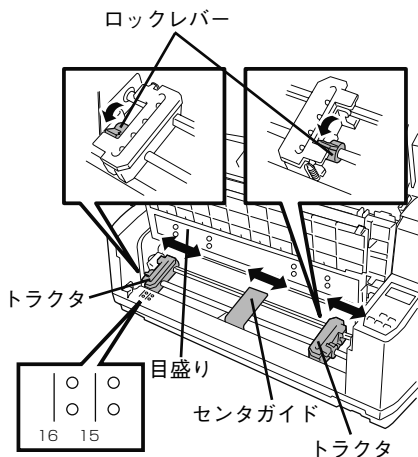
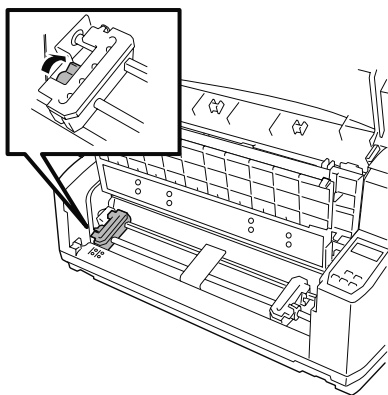
❸ **トップカバーを開ける。**

トップカバーの左右のつまみを持って開きます。

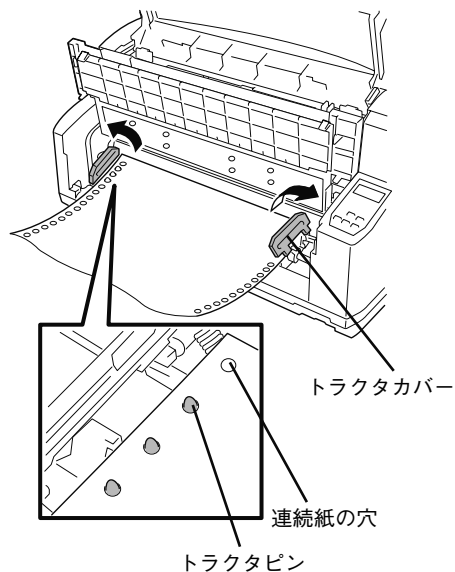
❹ **シートガイドを上げる。**

❺ **フロントカバーを上げ、シートガイドの左右のツメに「カチッ」と音がするまではめ込む。**

シートガイドの左右のツメがフロントカバーにしっかりとはめ込まれていることを確認してから次の手順に進んでください。ツメが外れているとフロントカバーが落下してけがをするおそれがあります。

❻ **左右のトラクタのロックレバー（緑色）を手前に倒す。**

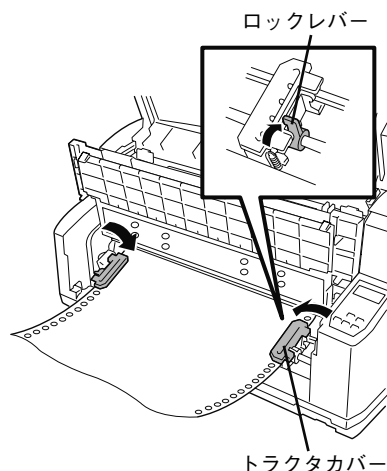
❼ **目盛りを使って左右のトラクタを連続紙の幅に合わせる。**

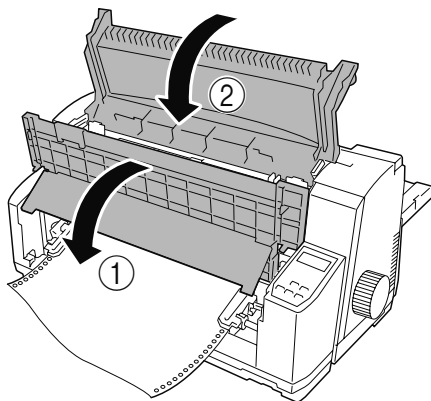
連続紙の用紙幅が381mm（15インチ）以下の場合は「15」、406.4mm（16インチ）の場合は「16」のマークに用紙の左端を合わせてセットしてください。

センタガイドは両トラクタの中央に移動させます。

❽ **左のトラクタのロックレバーを上げてロックする。**

❾ **左右のトラクタカバーを開け、連続紙を印刷する面を上にしてセットする。**

連続紙は、左右の穴とトラクタピンとの位置がずれないように注意して、トラクタピンにはめ込んでください。

連続紙の穴を破らないように注意してください。穴が破れたまま用紙をセットすると正しく給紙されないおそれがあります。

❿ **左右のトラクタカバーを閉めたら、右のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを上げてロックする。**

このとき連続紙の引き過ぎやたるみがないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。

⓫ **フロントカバー、トップカバーを下ろす。**

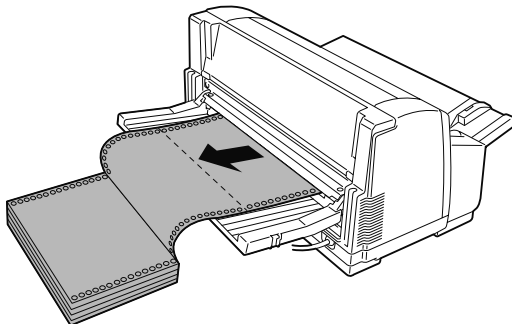
シートガイドの左右のツメからフロントカバーを外してシートガイドを下ろしたら、フロントカバーをプリンタ本体前面にある左右の溝に納めます。

⓬ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

連続紙が吸入され、用紙ランプが消灯、印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

これで、連続紙のセット・吸入が完了しました。印刷するデータをプリンタが受信すれば、連続紙への印刷が開始されます。

セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ	゛	ュ	ン
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ	゛			

連続紙の排出とスタック

印刷した連続紙はプリンタ背面に排出されるので、下図のようにスタック（折りたたむ）してください。
（連続紙の置き方については「連続紙の置き方」（76ページ）を参照してください。）

連続紙を取り除く

連続紙を取り除く場合は、［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙の先端をセット位置まで一時退避させてから連続紙をトラクタフィーダから外します。

連続紙のカット

連続紙をカットするには、ミシン目のカット位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り、手でカットします。カット位置までの用紙送り方法には、以下の2つがあります。

- カット機能を使う（[排出/カット] スイッチを押す）..30ページ
- 自動カット位置送り機能を使う ....オンラインマニュアル

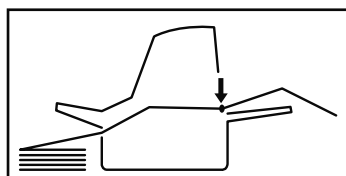
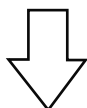
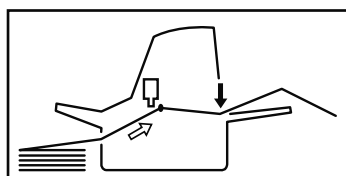
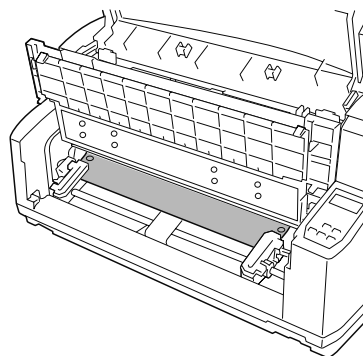
使用している連続紙が坪量46.5～157.0g/m^2（連量40～135kg相当）の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。また複写用紙でもミシン目部をカッタに当てることでカットすることができます。
印刷終了後に連続紙の最後の部分がトラクタから外れている場合は、用紙が排出されてしまうため「カット機能」は働きません。カット機能を使わないで連続紙をカットするときには「プラテンノブ」を使用してください。

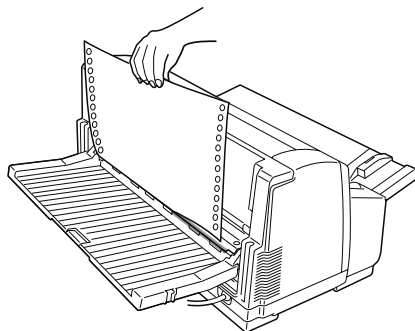
カット機能を使う

カット機能とは、連続紙のミシン目位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り出し、手でミシン目部をカットした後、先頭位置（用紙の吸入位置）まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙を無駄なく使用することができます。

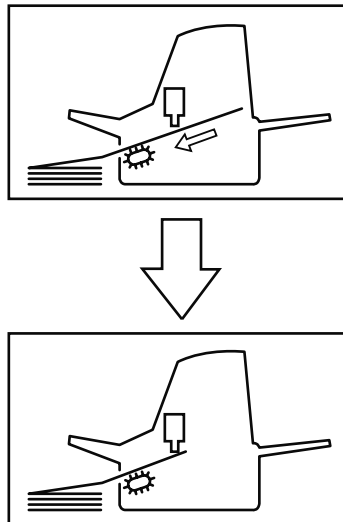
カット機能を使ってきちんとミシン目位置でカットできるようにするには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定方法はオンラインマニュアルのメニューモードまたはソフトウェアマニュアルのプリンタドライバを参照してください。

❶ **[排出/カット] スイッチを押す。**

連続紙がカット位置まで送られます。カット位置を微調整する場合はオンラインマニュアルをご覧ください。

[排出/カット] スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。

❷ **連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。**

用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできない可能性があります。

❸ **連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。**

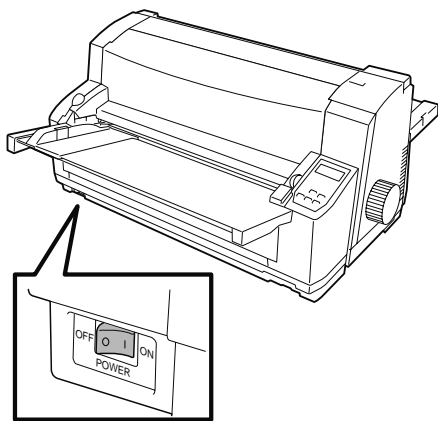
自動動作を待たなくても、もう一度［排出/カット］スイッチを押せば、用紙がすぐに戻ります。

2 用紙の取り扱い

カット紙のセットと吸入

ここでは普通紙のセットと吸入方法について説明します。はがきに印刷する場合はオンラインマニュアル「はがき・往復はがきのセット」、封筒に印刷する場合はオンラインマニュアル「封筒のセット」を参照してください。

チェック

- MultiImpact 700シリーズは、カット紙のセット位置は、左端を基準にしています。中央を基準にして（中央位置基準）で印刷するアプリケーションソフトを使用する場合は、オンラインマニュアルを参照してメニューモードの「カット紙位置補正」で印刷位置を補正してください。
- カット紙の自動印刷位置補正についてはオンラインマニュアルをご覧ください。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **連続紙がセットされている場合は、印刷されたページをカットし、［吸入/退避］スイッチを押す。**

残った用紙は一時退避します。

連続紙を一時退避する方法については「カット紙と連続紙の切り替え」（35ページ）を参照してください。

連続紙をカットした後、排出する場合は「連続紙を取り除く」（29ページ）を参照してください。

連続紙が退避位置まで戻りきらない場合は、［吸入/退避］スイッチを数回押して戻してください。

吸入/退避

❸ **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

チェック

ディスプレイに“シートガイド”と表示されるまで、用紙をセットしないでください。特に連続紙の退避動作途中で用紙をセットすると連続紙がトラクタから外れてしまいます。

用紙選択

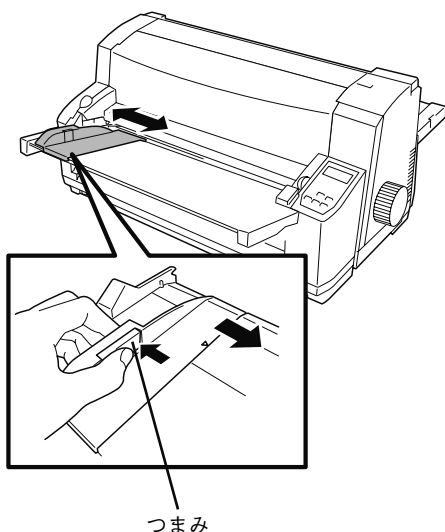
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

❹ ペーパガイドの▷と、シートガイド上の◁を合わせる。

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。

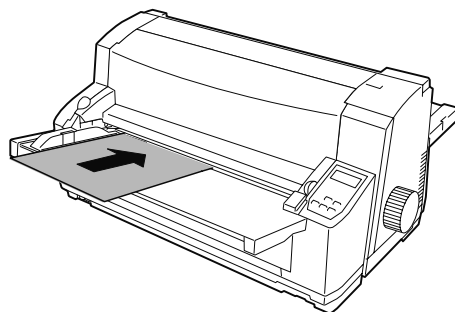
A3サイズの用紙を横置きに印刷する場合は、ペーパガイドの▷をシートガイドの◁A3に合わせます。

チェック

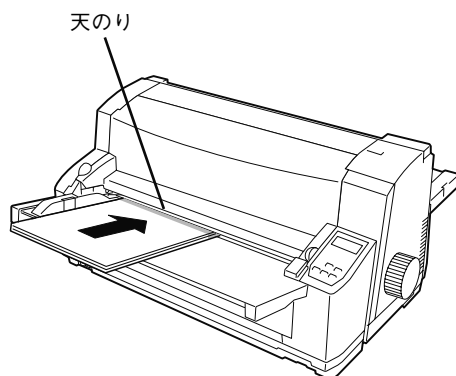
ペーパガイドは右方向に動かすときには、つまみを押さなくても動きますが、つまみを押して移動させる方が正しく調節できます。
カット紙の自動印刷位置補正についてはオンラインマニュアルを参照してください。

❺ 用紙をセットする。

用紙の印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に軽く突き当たるまでまっすぐ差し込んでください。

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

一定時間とはパラメータ設定の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法はオンラインマニュアルをご覧ください。

複写式用紙を使用する場合は､印刷する面を上にし、天糊（のり）の方から挿入します。その際、用紙の方向と印刷データの向きを合わせる必要があります。ソフトウェアマニュアルをご覧になり、用紙のフォーマットに合わせて「印刷の向き」を変更してください。

チェック

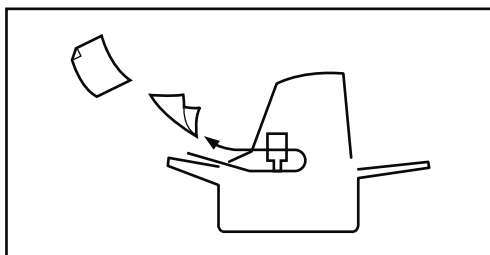
- カット紙は水平にセットしてください。斜めに吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん用紙を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになると、カット紙は自動吸入されません。この場合は、カット紙をセットした後、［吸入/退避］スイッチを押してカット紙を吸入させてください。

カット紙の排出

印刷終了後のカット紙の排出先は、シートガイドとスタッカの2種類があります。また、はがき、往復はがき、封筒を排出する場合も同様です。

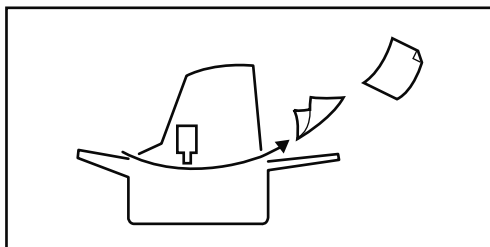
ここでは、シートガイドを使用してカット紙に印刷した場合について説明します。シートフィーダから給紙した用紙を排出する場合はオンラインマニュアルを参照してください。

複写式用紙に印刷した場合は、プリンタ背面のスタッカに排出してください。複写式用紙をシートガイドへ排出すると、紙づまりなどを起こす原因となります。

シートガイドに排出する

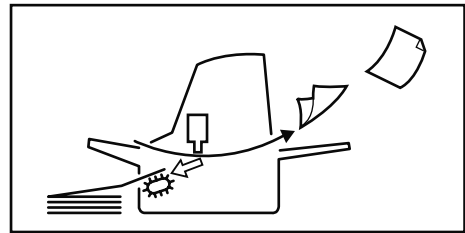
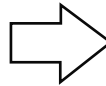
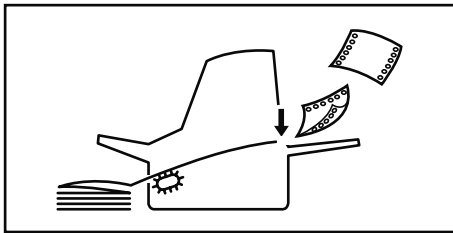
通常、シートガイドを使用して吸入したカット紙は自動的にシートガイドに排出するので、何も設定する必要はありません。

スタッカに排出する

スタッカに排出する場合は次のいずれかの方法で設定してください。
スタッカには坪量64.0g/m^2（連量55kg相当）の用紙の場合、約100枚スタックする（積み重ねる）ことができます。

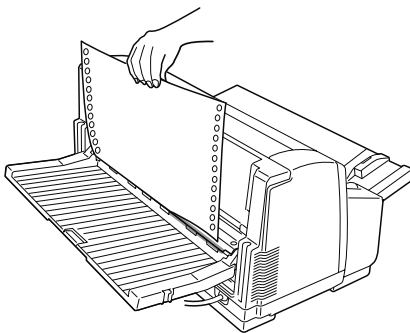
- メモリスイッチ4-6（MSW4-6）をONに設定する。（メモリスイッチの詳しい設定方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。）
- 「用紙の排出方向」を後方排出に変更する。（詳しくはソフトウェアマニュアルをご覧ください。）
- 制御コードによってスタッカ側への排出を指定する。（詳しくはオンラインマニュアルをご覧ください。）

カット紙と連続紙の切り替え

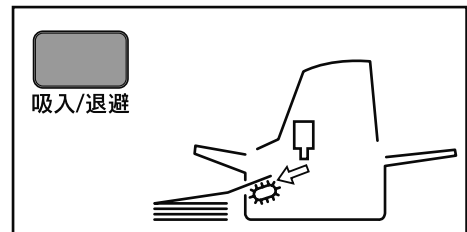
吸入されている連続紙は、［吸入/退避］スイッチを押すことにより吸入前の位置（連続紙のセット位置）まで戻すことができます。この機能を使えば、セットした連続紙を取り除かずにカット紙に印刷することができます。カット紙と連続紙に交互に印刷したいときに便利な機能です。

連続紙からカット紙への切り替え

連続紙をセットしている状態からカット紙をセットして印刷できる状態にするまでの手順について説明します。

❶ **印刷の終了した連続紙を、印刷したページの終わりでカットする。**

連続紙のカットについては「連続紙のカット」（30ページ）を参照してください。

- 連続紙のカットはミシン目に沿ってまっすぐきれいにカットしてください。
- プリンタ後方に連続紙が大量に排出されている場合、カットせずに連続紙を戻すと紙づまりの原因となります。連続紙をカットしてから次の手順に進んでください。

❷ **［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙を一時退避する。**

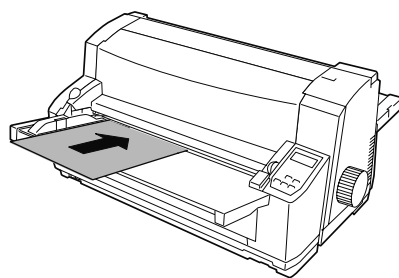
連続紙はセット位置に戻ります。これを連続紙の「一時退避」といいます。

❸ **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

ディスプレイに“シートガイド”と表示されるまで用紙をセットしないでください。特に連続紙の退避動作途中で用紙をセットすると連続紙がトラクタから外れてしまいます。

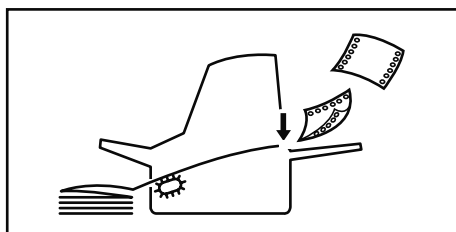
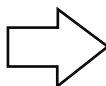
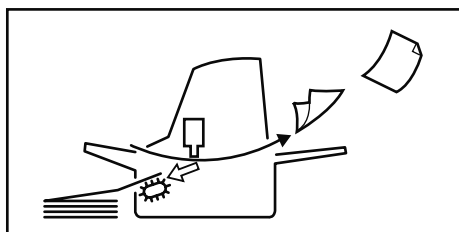
用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ゛		イ	ト゛									

❹ **カット紙をセットする。**

用紙の印刷する面を表にして、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ押し込みます。

カット紙が自動的に吸入され、印刷可ランプが点灯します。カット紙の詳しいセット方法は「カット紙のセットと吸入」(32ページ) を参照してください。

カット紙から連続紙への切り替え

カット紙をセットしている状態から、連続紙をセットして印刷できる状態にするまでの手順について説明します。

❶ **カット紙を取り除く。**

[排出/カット] スイッチを押してカット紙を排出します。シートガイドまたはスタッカに排出された用紙は取り除いてください。

排出/カット

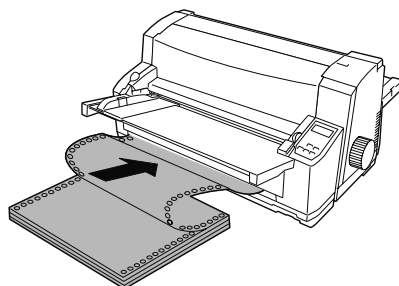
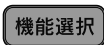
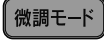
❷ **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　フロントトラクタフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

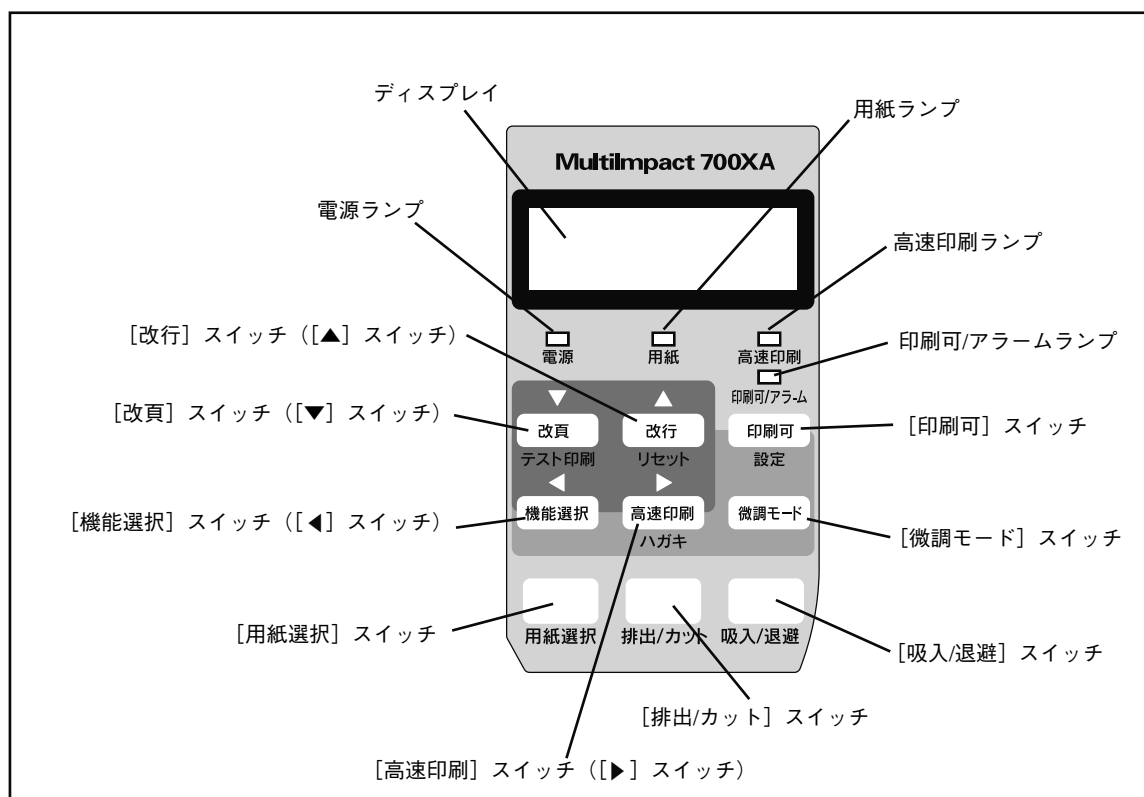
連続紙が自動的に吸入されます。これで連続紙に印刷できます。

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛				

✔チェック

連続紙の印刷されたページは、一時退避する前にカットしてください。カットせずに一時退避させ、そのまま連続紙を復帰させると、すでに印刷していた部分に重ねて印刷するおそれがあります。万一、カットし忘れた場合は復帰後に用紙を印刷位置まで送ってから印刷してください。

3章
操作パネルとメニューモード

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンタの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネル上には、ディスプレイと9個のスイッチ4個のランプがあります。メニューモードでプリンタのさまざまな設定をしたり、変更したりする際にスイッチを使います。ディスプレイとランプはプリンタの状態やエラーを知らせます。ディスプレイ、スイッチ、ランプの機能については次ページ以降をご覧ください。

スイッチの基本機能

操作パネルには9個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの基本的な機能について説明します。

スイッチ	機能
［印刷可］スイッチ 印刷可	印刷可スイッチを押すごとにセレクト状態（データを受信して印刷できる状態、印刷可ランプ点灯）とディセレクト状態（データを受信せず印刷しない状態、印刷可ランプ消灯または点滅）に交互に切り替えます。 • 印刷中にこのスイッチを押すと、印刷が一時的に停止します。もう一度押すと印刷を再開します。 • 微調モード時にこのスイッチを押すと、設定値をメモリに保存し、セレクト状態に復帰します。
［改行］スイッチ 改行	改行スイッチを1回押すごとに、用紙を1行分送ります。スイッチを1秒以上押し続けると、連続して用紙を送ることができます。 • 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。 • 1行は約4.2mm（1/6インチ）です。 • 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。
［改頁］スイッチ 改頁	あらかじめ設定された用紙長分の改行を行います。1回押すごとに設定された用紙長に従って次ページの第一印刷行へ改行します。 • 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。 • 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。 • 縮小モード中は、縮小率を掛けた改行幅で改行されます。 • オプションのカラーインクリボンカートリッジを使ってテスト印刷を行う場合、漢字モードのときは［改頁］スイッチを押すたびに色が切り替わります。
［機能選択］スイッチ 機能選択	ディセレクト状態でメニューモードへ切り替えます。 • メニューモードまたはスペシャルメニューモードにおいて、前の機能項目をディスプレイに表示します。 • テスト印刷モードにおいて、現在実行中の印刷モードから次の印刷モードに切り替えます。
［高速印刷］スイッチ 高速印刷	高速印刷の選択、解除を行います。高速印刷を選択すると、印刷速度を上げて印刷時間を短縮できます。 • スイッチを押すごとに高速印刷の選択/解除を行います。 • 高速印刷が選択されているときは高速印刷ランプが点灯します。 • 高速印刷を選択すると、プリンタは通常の印刷データを1ドットおきに印刷するので、印刷品質は通常より劣ります。 ✔チェック 印刷中は、［高速印刷］スイッチを押さないでください。高速印刷の選択/解除は、印刷が終了していることを確認してから行ってください。
［微調モード］スイッチ 微調モード	吸入位置およびカット位置の微調整を行います。 • 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。 • スイッチを押すと微調モードに入ります。 • 用紙吸入後またはカット位置送り直後に、このスイッチを押した後、［▲］スイッチ（改行）または［▼］スイッチ（改頁）を押して上下方向の微調整を行います。（詳しくは、オンラインマニュアルの「用紙吸入位置の微調整」または「連続紙のカット」をご覧ください。）
［排出 / カット］スイッチ 排出/カット	用紙の排出またはカットを行います。 • 連続紙使用時に［排出/カット］スイッチを押すと、連続紙をカット位置まで送ります。もう一度押すと、連続紙を吸入位置まで戻します。（逆方向） • カット紙使用時に［排出/カット］スイッチを押すと、用紙を排出します。

<table>
<tr>
<td>［用紙選択］スイッチ

</td>
<td>用紙の給紙方法を選択します。選択方法は、［用紙選択］スイッチを押して使用する給紙方法をディスプレイに表示します。
給紙方法の種類
• フロントトラクタフィーダ
• シートフィーダ（オプション装着時）
• リアトラクタフィーダ（オプション装着時）
• シートフィーダ　ハガキ*1（オプション装着時）
• シートガイド
• シートガイド　ハガキ*1
*1 ハガキ印刷モード使用時のみ選択可能</td>
</tr>
<tr>
<td>［吸入 / 退避］スイッチ

</td>
<td>用紙の吸入または退避（排出）を行います。
選択した給紙方法と用紙の状態によって、プリンタの［吸入/退避］の動作が異なります。各設定および用紙の状態での吸入/退避スイッチの機能については、下の表を参照してください。

［吸入/退避］スイッチの機能
<table>
<tr><th>ディスプレイ</th><th>用紙の状態</th><th>動作</th></tr>
<tr><td rowspan="2">フロントトラクタフィーダ</td><td>用紙有り</td><td>連続紙の退避</td></tr>
<tr><td>用紙無し</td><td>連続紙の吸入</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リアトラクタフィーダ</td><td>用紙有り</td><td>連続紙の退避</td></tr>
<tr><td>用紙無し</td><td>連続紙の吸入</td></tr>
<tr><td rowspan="3">シートガイド</td><td>用紙セット後</td><td>用紙吸入*1</td></tr>
<tr><td>用紙有り</td><td>用紙排出</td></tr>
<tr><td>用紙無し</td><td>動作せず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シートフィーダ</td><td>用紙有り</td><td>用紙排出後、吸入</td></tr>
<tr><td>用紙無し</td><td>用紙吸入</td></tr>
</table>
*1　メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がON（マニュアル設定）時の動作となります。</td>
</tr>
</table>

スイッチの応用機能

スイッチには「改行する」、「用紙を選択する」などの基本機能の他にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

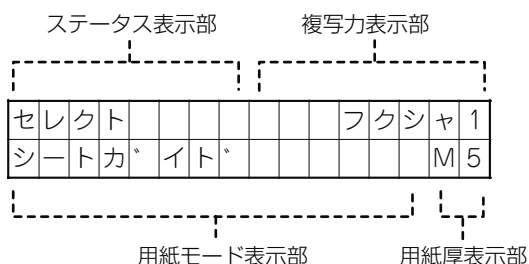
機能	スイッチ操作	内容
メニューモード	ディセレクト状態になっているときに、［機能選択］スイッチを押す。	プリンタの内部設定を変更するモードです。書式設定など比較的頻繁に設定変更を行う項目があります（詳細は42ページ参照）。
スペシャルメニューモード	［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON。	プリンタの内部設定を変更するモードです。メモリスイッチ設定などあまり設定変更を行わない項目があります（詳細は44ページ参照）。
設定内容のリセット	①［改行］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON。 ②［機能選択］スイッチを押す。	メニューモード、またはスペシャルメニューモードで設定した内容を工場設定値にリセットします（詳細は46ページ参照）。
テスト印刷	［改頁］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをON。	インクリボンカートリッジを交換した後、またはプリンタが故障して、その処置が済んだ後、動作確認をするためにテスト印刷を行います（詳細は21ページ参照）。
強制リセット	［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押す。	プリンタを電源ON直後の状態に戻します。強制リセットを行うとプリンタ内にデータが残っていた場合は消去します。カバーオープン、紙づまり等のアラームおよび復旧不可能エラー発生時は無効です。

ランプの表示

操作パネルには4個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンタの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
電源ランプ	緑	点灯	プリンタの電源がONになっています。
		消灯	プリンタの電源がOFFになっています。
用紙ランプ	赤	点灯	用紙がセットされていないまたは用紙が残り少なくなっている状態です。
		点滅	• カット紙がシートガイドに排出されたままの状態です。 • アラームランプとの同時点滅で用紙づまり、連続紙退避エラーなどの復旧可能エラー状態です。
		消灯	用紙がセットされている状態です。
高速印刷ランプ	橙	点灯	高速印刷モード状態です。
		消灯	通常印刷モード状態です。
印刷可/アラームランプ	緑	点灯	プリンタがセレクト状態（印刷可能状態）です。
		点滅	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）で、未印刷のデータがプリンタ内に残っています。
		消灯	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）です。
	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生しました。 「修理に出される前に」（64ページ）を参照した後、お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。
		点滅	復旧可能なエラーが発生しました。 「エラー表示が出ているときは」（56ページ）を参照しください。

ディスプレイの表示

操作パネルのディスプレイには、右図のようにプリンタの状態やアラーム時の解除方法およびプリンタのメニュー設定時の項目などが表示されます。ここでは、プリンタが通常の状態での表示とその他の状態での表示について記載しています。アラームの表示については「エラー表示が出ているときは」（56ページ）をご覧ください。

ディスプレイ通常表示

表示の種類	表示	表示の意味
電源スイッチをONまたは初期化動作中の表示	イニシャライス゛　チュウ	プリンタを初期状態に戻しています。
印刷可能状態の表示	セレクト	プリンタが印刷可能な状態になっています。
印刷不可状態の表示	テ゛ィセレクト	プリンタが印刷不可能な状態になっています。
テスト印刷中の表示	テスト　インサツ	テスト印刷中です。
HEXダンプ中の表示	HEXタ゛ンフ゜	HEXダンプモードになっています。
用紙モードに関する表示	シートカ゛イト゛	給紙方法がシートガイドになっています。
	シートカ゛イト゛　ハカ゛キ	給紙方法がシードガイドハガキ印刷モードになっています。
	シートフィータ゛	給紙方法がシートフィーダになっています。
	シートフィータ゛　ハカ゛キ	給紙方法がシートフィーダハガキ印刷モードになっています。
	フロントトラクタフィータ゛	給紙方法がフロントトラクタフィーダになっています。
	リアトラクタフィータ゛	給紙方法がリアトラクタフィーダになっています。
複写力に関する表示	ヒョウシ゛ュン	複写力の設定が「標準」になっています。
	アツカ゛ミ	複写力の設定が「厚紙」になっています。
	フクシャ 1	複写力の設定が「複写1」になっています。
用紙厚に関する表示	（表示なし）	用紙厚調整の設定が「オート」になっています。自動的に用紙厚を検出します。
	M1	用紙厚調整の設定が手動で設定されています。複写式用紙の枚数に合わせてM1（1枚）〜M9（9枚）〜Mx（10枚〜12枚）の範囲で数値が設定されています。 ※ご使用の複写式用紙の枚数に設定されていることをご確認ください。設定が適正でない場合、印刷汚れや印刷かすれ、印刷ヘッドの故障の原因となることがあります。 ※本製品の最大複写枚数は9枚です。「複写枚数と坪量（連量）」（75ページ）を参照してください。
	M2	
	: :	
	M8	
	M9	
	Mx	

その他の状態での表示

表示の種類	表示	表示の意味
用紙吸入位置の微調整	キュウニュウイチ　ヒ゛チョウ XX．Xmm　＊	吸入位置の微調整モード中です。 XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
カット位置微調整	カットイチ　ビチョウ ±　XX．Xmm　＊	連続紙カット位置微調整モード中です。 XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
連続紙カット位置	ヨウシ　カット　テ゛キマス （用紙モードを表示）	連続紙をカットできる位置になっています。
［用紙選択］スイッチを押した状態	ヨウシ　センタク （切り替え先の用紙モードを表示）	［用紙選択］スイッチを押すごとにディスプレイに選択できる用紙モードが表示されます。
用紙切り替え中	ヨウシ　キリカエチュウ	用紙選択中に、［用紙選択］スイッチを2秒以上放すと用紙切り替え動作が実行されます。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニューモードについては「メニューモード」（42ページ）をご覧ください。	

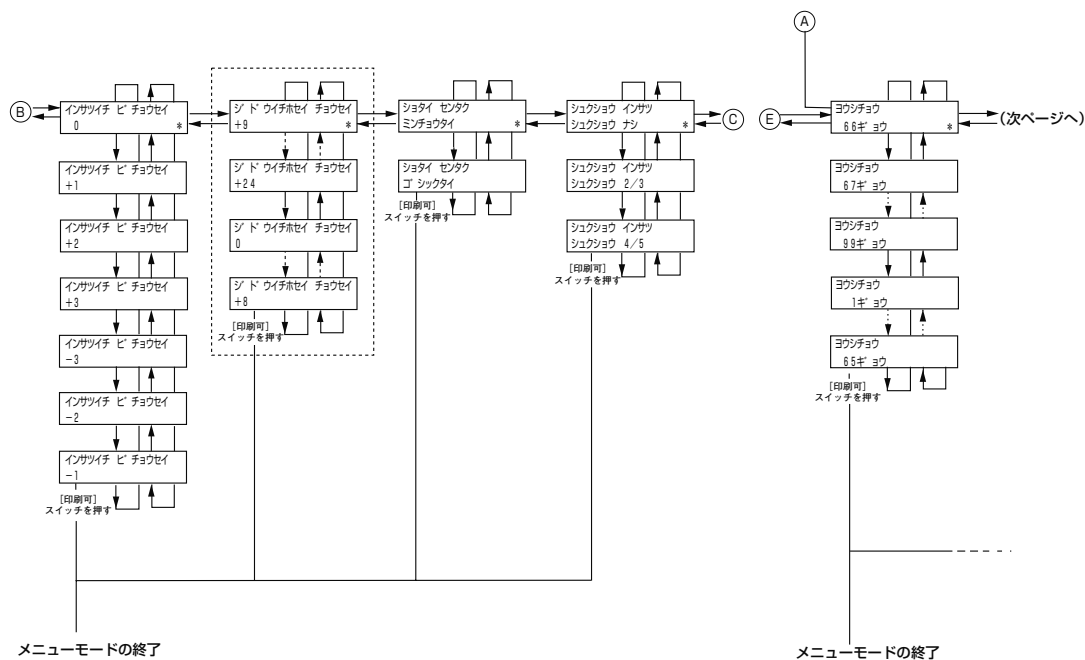
メニューモード

ここでは、メニューモードのメニューツリーを載せています。メニューモードの変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法および設定方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

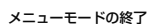
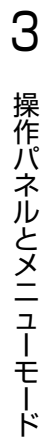
メニューツリー

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す　　図中の ↓は［改行］スイッチを押す

図中の →は［高速印刷］スイッチを押す　　図中の ↑は［改頁］スイッチを押す

キュウニュウイチ XXX
XX.XXmm *

この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。

3

操作パネルとメニューモード

スペシャルメニューモード

ここでは、スペシャルメニューモードのメニューツリーを載せています。スペシャルメニューモードの変更できる設定項目、スペシャルメニューモードの入り方と終了方法および設定方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。

メニューツリー

3 操作パネルとメニューモード

設定内容のリセット

メニューモード、またはスペシャルメニューモードで設定した内容を工場設定値にリセットします。

❶ ［改行］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

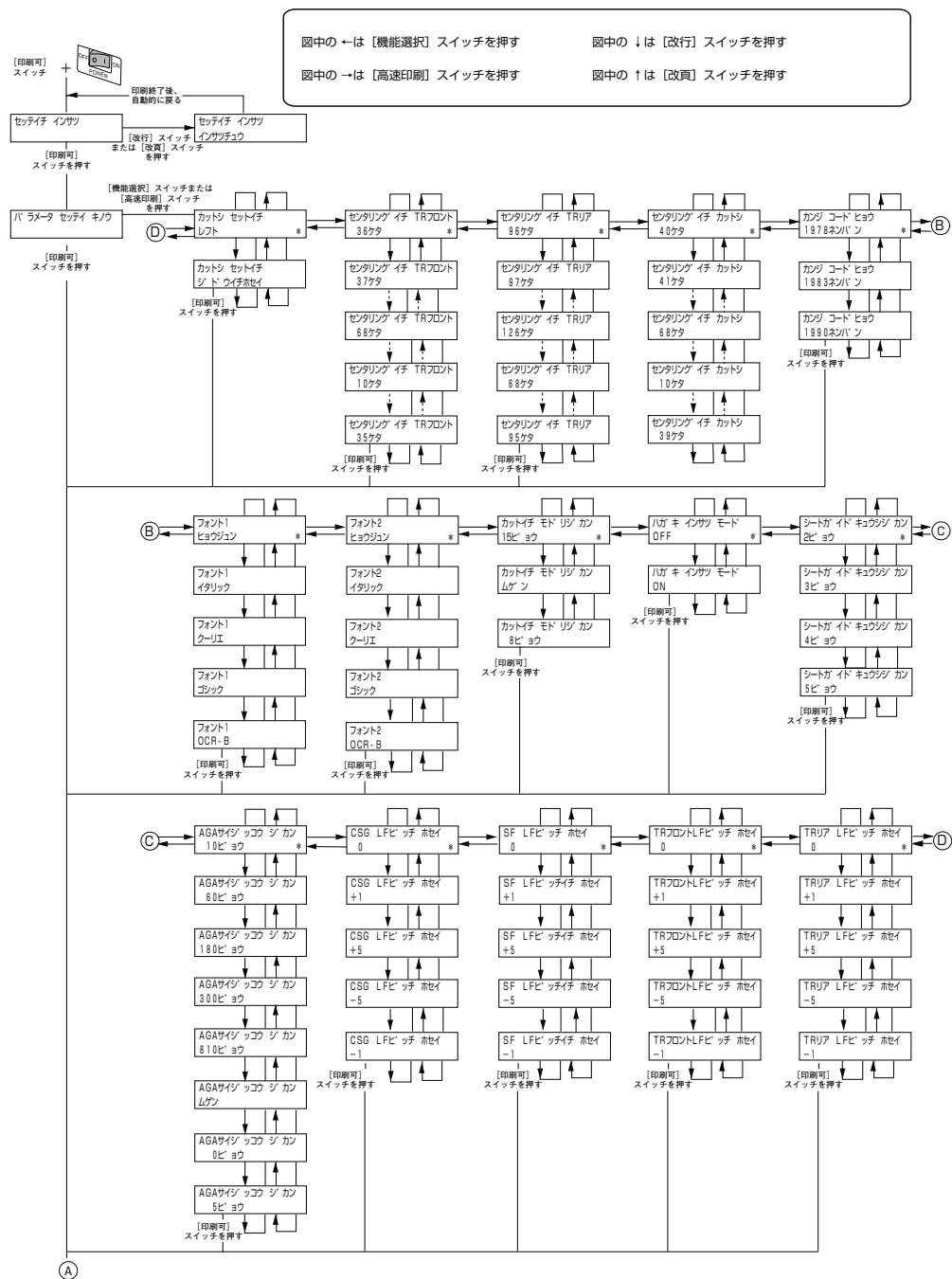
ディスプレイに"メモリスイッチ　クリア？　Y：←　N：→"とリセットの再確認を促すメッセージが表示されます。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		ク	リ	ア	？				
		Y	：	←			N	：	→						

❷ ［機能選択］スイッチを押す。

設定内容が工場設定値にリセットされます。

設定内容のリセットを中止したい場合は［高速印刷］スイッチを押します。

機能選択

メモリスイッチ設定モード

このプリンタには40個のメモリスイッチ（MSW）が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態（ON/OFF）を切り替えることにより、プリンタの様々な設定を変更することができます。メモリスイッチとは電源スイッチのように機械的なものではなく、設定内容を電気的に切り替え、記憶するものです。

ここでは、メモリスイッチ設定モードで設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW1	1	各国文字の切り替え	3つのスイッチON/OFFの組み合わせ*により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの文字を切り替えます。		OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	データ受信方法の切り替え	従来互換	高速受信	OFF
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰のみ	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CRのみ	CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	2	シートガイド使用時の用紙なし検出	印刷時検出	常時検出	ON
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	クワイエットモードの切り替え	無効	有効	OFF
	5	HDパイカモード/HSパイカモードの初期設定	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向	片方向	OFF

＊ MSW1-1〜1-3の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります（各国文字の組み合わせ表は次ページにあります）。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW3	1	自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え	再吸入しない	再吸入する	OFF
	2	PCモード/情処モード切り替え	PCモード	情処モード	OFF
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC a、FF、印刷データ＋印刷指令コード	ESC a、FF、LF、US、VT、印刷データ＋印刷指令コード	OFF
	5	自動カット位置送り機能有効／無効	無効	有効	OFF
	6	改頁実行時のセンタリング動作切り替え	センタリングしない	センタリングする	OFF
	7	数字「0」の字体（2バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	印刷ヘッド空打ち防止機能の有効／無効	有効	無効	OFF
	2	シートフィーダ制御方法	スループット優先モード	斜行補正優先モード	OFF
	3	カット位置送り機能　用紙送り量	固定長	TOF＋固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向の切り替え	片方向	両方向（MSW2-8をOFF　にしてください）	ON
	5	高速印刷モードの初期設定	標準モード	高速印刷モード	OFF
	6	カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	7	カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	8	オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW5	1	待機モード移行時間の切り替え	15分	1分	ON
	2	待機モード復帰時の初期化動作切り替え	初期化動作する	初期化動作しない	ON
	3	吸入以外のセンタリング位置切り替え	自動検出による	センタリング位置設定による	OFF
	4	用紙左右端検出位置の切り替え	吸入位置の設定による	25.4mm（1インチ）	OFF
	5	用紙切れ判断の切り替え	用紙長設定に従う	用紙最下端付近まで印刷する	OFF
	6	未使用			
	7	未使用			
	8	未使用			

各国文字の組み合わせ表

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

4章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンタの清掃について説明します。清掃は、MultiImpact 700シリーズを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

インクリボンカートリッジの交換

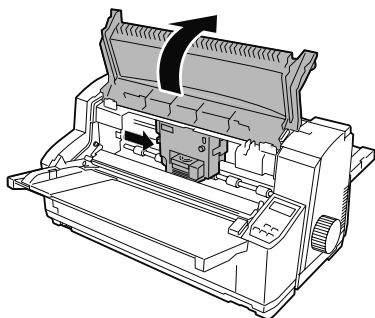
インクリボンカートリッジの交換は次の手順で行います。

本プリンタはNECが指定する消耗品を使用時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用された場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品はNEC指定品のご使用をお勧めします。

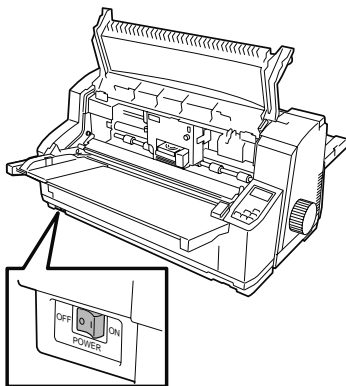
長時間印刷を続けた後は、印刷ヘッドが高温になっているため、すぐに手を触れると火傷のおそれがあります。十分に温度が下がってから作業するようにしてください。

❶ **プリンタの電源スイッチがONになっていることを確認する。**

❷ **トップカバーを開ける。**

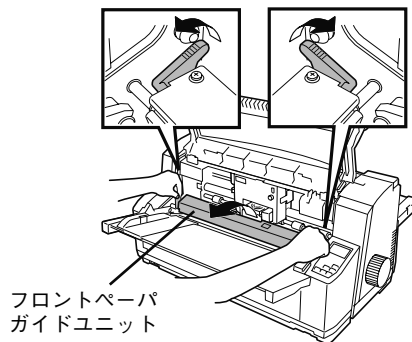
中央に印刷ヘッドとカードホルダが移動します。

⚠ 注意

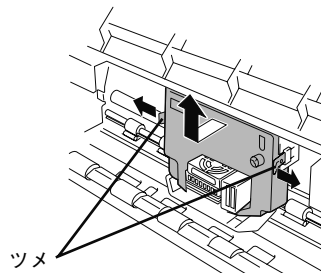
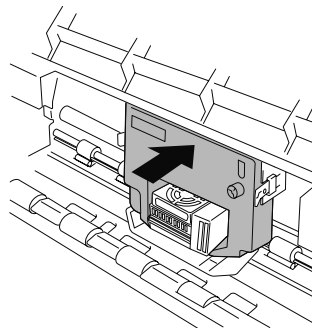
印刷ヘッドとカードホルダが移動し終わるまでは、プリンタ内部には手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

❸ **トップカバーを開けたまま、プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

⚠ 注意

必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたままインクリボンカートリッジを取り付けると、プリンタが突然動作して、けがをするおそれがあります。

❹ **フロントペーパガイドユニットを開ける。**

左右の緑色のレバーを引きながら、手前に回します。

❺ **インクリボンカートリッジを取り外す。**

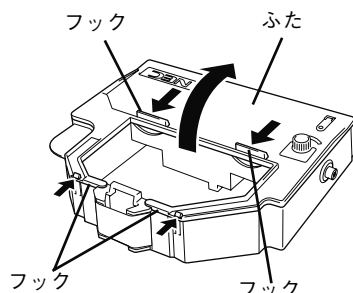
カートリッジホルダの左右にあるツメを軽く開きながら、使い終わったインクリボンカートリッジを手前に取り出し、真上に取り外します。

❻ **19ページの手順5以降の手順で新しいインクリボンカートリッジを取り付ける。**

❼ **テスト印刷をする。**

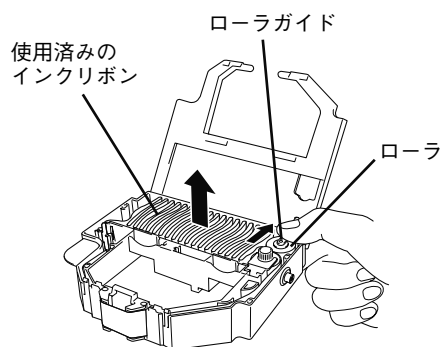
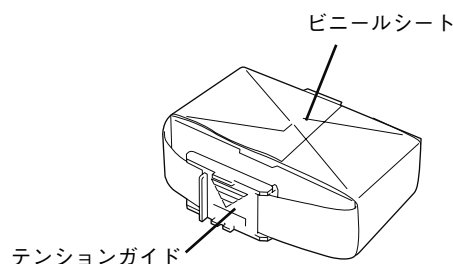
「テスト印刷をする」（21ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

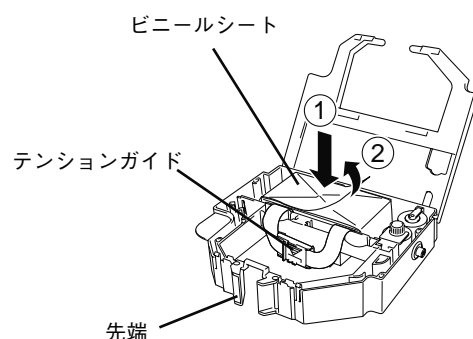
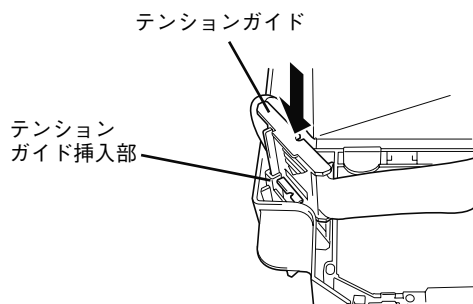
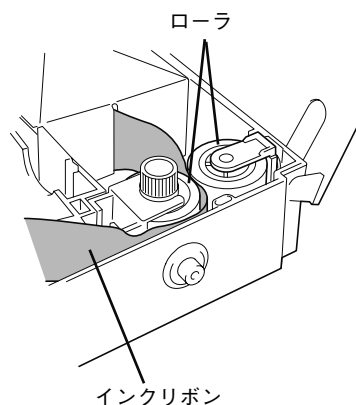
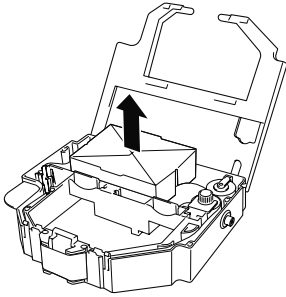
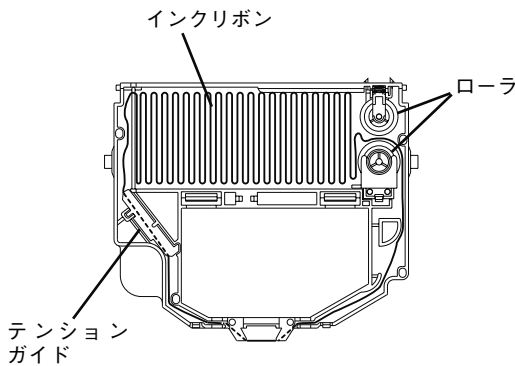
これでインクリボンカートリッジの交換は終了です。

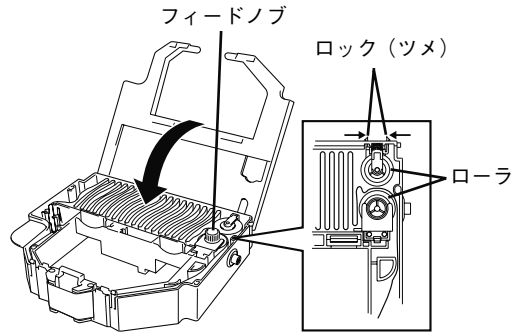
インクリボンの交換方法

MultiImpact 700シリーズで使用できるインクリボンカートリッジは中のインクリボンを交換できます。モノクロ用のカセットとカラー用のカセットはそれぞれ専用のインクリボンを使用します。交換の前にカセットに合ったインクリボンかどうかをご確認ください（「消耗品」（12ページ）参照）。

❶ インクリボンカートリッジのフック4か所を外してふたを開ける。

❷ ローラガイド（グレーの部分）の上下を指で押さえ、「カチッ」と音がするまで矢印方向にスライドさせてロックする。使用済みのインクリボンをインクリボンカートリッジから抜き出す。

使い終わったインクリボンはNECのサービス窓口にお持ちいただくか、各自治体の廃棄ルールに従って廃棄してください。

❸ 新しいインクリボンをビニール袋から取り出し、テンションガイドを引き出す。

❹ インクリボンのテンションガイドをインクリボンカートリッジの先端に向けて、インクリボンをインクリボンカートリッジに入れる。

①インクリボンを押さえながら、②ビニールシートを矢印方向に静かに抜き取る。

❺ テンションガイドをテンションガイド挿入部に入れる。

❻ ローラの間にインクリボンを底まで確実に入れる。

❼ **インクリボンを入れた箱の中央部を押し、インクリボンが完全に押し出されたことを確認しながら、箱を静かに取り除く。**

インクリボンの経路は次のとおりです。きちんとセットされていることを確認してください。

❽ **ローラのロック（ツメ）を解除し、インクリボンカートリッジのふたを閉め、フィードノブをふたに表示されている矢印方向に回してインクリボンのたるみをなくす。**

必ずロックを解除してフタを閉めてください。
フィードノブがスムーズに動くことを確認してください。

❾ **使用回数ラベルの詰替回数欄に×印を記入する。**

インクリボンカートリッジに対するインクリボンの交換回数は2回までです。

使用上の注意	1	2
	×	

プリンタの清掃

プリンタをいつまでもきれいな状態で使っていただくために、プリンタの外まわりを定期的に乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、つぎのような方法できれいにしてください。

⚠ 注意　プリンタを絶対に分解しないでください。感電などの事故の原因となり危険です。

❶ **電源をOFFにし、電源コードをコンセントから外す。**

❷ **シートガイドとスタッカを取り外す。**

❸ **無水エタノールまたはOAクリーナー等を柔らかい布にふくませ、プリンタの汚れた部分を清掃してください。**

✔チェック

- シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤は使わないでください。材質をいためたり、変色の原因になることがあります。
- コンセント、ケーブル、およびプリンタ内部は絶対に水などでぬらさないようにしてください。内部にゴミや異物があるときは、掃除機で吸い取ってください。

5章
故障かな？と思ったときは

ここでは、プリンタにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作パネル上のアラームランプと用紙ランプが点灯または点滅しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」（56ページ）の表をご覧になりながら、処置してください。
エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（58ページ）の表をご覧になりながら処置してください。

処置が終わりましたら、必要に応じ、「テスト印刷をする」（21ページ）に従ってプリンタが正しく動作することを確認してください。表に示された処置を行ってもプリンタが回復しない場合は、お近くの販売店あるいは保守サービス会社にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであればディスプレイの表示からその原因を知ることができます。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンタの故障が考えられます。お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。

また、ディスプレイにエラー表示が出ていないのに印刷できない場合は、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（58ページ）を参照してください。

エラー表示一覧（アイウエオ順）（1 / 2）

ディスプレイ表示	アラームの内容 （ランプの状態）	アラームの詳細と処置方法
カハ゛ー　オーフ゜ン カハ゛ーヲトシ゛テクタ゛サイ	トップカバーが開いている （印刷可（赤）ランプが点滅）	トップカバーが開いています。 → トップカバーを閉じてください。
テ゛ータカ゛　ノコッテイマス インサツカニ　シテクタ゛サイ	印刷されていないデータが残っている （印刷可（緑）ランプが点滅）	まだ印刷されていないデータが残っている状態で、ディセレクト（印刷不可）状態になっています。 → ［印刷可］スイッチを押してセレクト状態にして残りのデータを印刷してください。
テ゛ータカ゛　ノコッテイマス ヨウシヲ　セット　シテクタ゛サイ		まだ印刷されていないデータが残っている状態で、用紙がセットされていません。 → 用紙をセットして残りのデータを印刷してください。
ヘット゛コウオン シハ゛ラクオマチクタ゛サイ	印刷ヘッドが高温になっている （印刷可（赤）ランプ、高速印刷ランプが点滅）	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → 約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。
ヘット゛コウオン ソクト゛タ゛ウンインサツチュウ	印刷ヘッドが高温になっている	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → さらに印刷を続けると“ヘット゛コウオン　シハ゛ラクオマチクタ゛サイ”とディスプレイに表示され約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。
ヘット゛コウオン ヒエルマテ゛オマチクタ゛サイ	印刷ヘッドが非常に高温になっている （印刷可（赤）ランプ、高速印刷ランプが点滅）	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → 一時印刷が中断されます。印刷ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシ　タイヒ　エラー	用紙切り替え時のアラームが発生している	用紙切り替え動作中に、連続紙の退避が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（61ページ）を参照してください。
ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシ　ハイシュツ　エラー		用紙切り替え動作中に、用紙の排出が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（61ページ）を参照してください。
ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシヲ　トッテ　クタ゛サイ		用紙切り替え動作中に、排出された用紙がシートガイドに残ったままです。 → シートガイドに排出された用紙を取り除いてください。
ヨウシ　タイヒ　エラー	連続紙の退避が正しく行われていない （用紙ランプ、印刷可（赤）ランプが点滅）	連続紙の退避が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（61ページ）を参照してください。

エラー表示一覧（アイウエオ順）（２ ／ ２）

ディスプレイ表示	アラームの内容（ランプの状態）	アラームの詳細と処置方法
ヨウシ　ツ゛マリ	用紙吸入が正しく行われていない （用紙ランプ、印刷可（赤）ランプが点滅）	用紙の吸入が正しく行われませんでした。紙づまりの発生、または用紙サイズが違っています。 → 紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（61ページ）を参照してください。 用紙サイズが違う場合：規定のサイズの用紙または、設定に合った用紙をセットしてください。
		フロントペーパーガイドが閉じられていません。 → カチッと音がするまでフロントペーパーガイドを押し、きちんと閉じてください。
ヨウシ　ハイシュツ　エラー	用紙の排出が正しく行われていない （用紙ランプ、印刷可（赤）ランプが点滅）	用紙の排出が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（61ページ）を参照してください。
ヨウシヲ　セット　シテクタ゛サイ	用紙なし （用紙ランプ点灯）	用紙がセットされていません。 → 用紙をセットしてください。
		直射日光などの強い光がセンサに当たって誤検出しています。 → プリンタを強い光が当たらない場所に移動してください。
ヨウシヲ　トッテ　クタ゛サイ	排出されたカット紙がシートガイドに残っている （用紙ランプが点滅）	排出された用紙がシートガイドに残ったままです。 → シートガイドに排出された用紙を取り除いてください。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンタが思うように動作しなかったり印刷の状態が良くなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

プリンタの症状一覧（1 / 3）

症　状	確認と処置
電源ランプが点灯しない。	電源コードがコンセントから抜けていませんか。 → 電源をOFFにしてから、電源コードのプラグを確実に差し込んでください。
	プリンタの電源スイッチがOFFになっていませんか。 → プリンタの電源スイッチをONにしてください。
	コンセントに電気がきていますか。 → コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチを ON にしてください。（スイッチがないときは、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください。）
電源ランプがいったん点灯した後消灯してしまい、再度電源スイッチをONにしても点灯しない。	コンセントとプリンタの電圧が違っていませんか。 → プリンタ背面のラベルに印刷されている電圧とコンセントの電圧を確認してください。万一違う電圧を使用した場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店やサービス受付窓口にご相談ください。
印刷動作をしない。	印刷動作をしない。印刷可ランプが消灯していませんか。 →［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを点灯させてください。
	用紙ランプが点灯していませんか。 → 用紙を正しくセット・吸入して［印刷可］スイッチを押してください。
	プリンタケーブルが外れていませんか。 → プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
電源スイッチをONにすると、一瞬印刷音がする。	印刷ヘッドの予備動作音であり、故障ではありません。
印刷音はしているのに印刷されない。	インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 → 正しく取り付け直してください。
印刷速度が急に遅くなった。	長時間印刷を続けていませんか。 → 印刷ヘッドが高温になったため、両方向最短印刷から片方向印刷に切り替えています。印刷ヘッドの温度が下がれば元の印刷速度に戻りますので、しばらくお待ちください。
	紙厚の厚い用紙を使っていませんか（複写紙の場合は総紙厚）。 → 約0.3mmを超えている紙厚の用紙を使用している場合は、少し印刷速度が遅くなります。
	長時間印刷のあと、紙厚の違う用紙に変えていませんか。 → 用紙を退避した状態でプリンタの電源を入れ直してください。
印刷が欠ける。	インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 → 正しく取り付け直してください。
	インクリボンがたるんだり、印刷ヘッドから外れかけたりしていませんか。 → インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。
	インクリボンカートリッジの内部でインクリボンがねじれていませんか。 → インクリボンのねじれを直すか、新しいインクリボンに交換してください。
印刷が横一列に欠ける。	印刷ヘッドのピンが折れています。お近くの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口にご相談ください。

プリンタの症状一覧（2 / 3）

症　状	確認と処置
左右端の文字が印刷されない。	印刷範囲より狭い用紙に印刷を行いませんでしたか。 → 印刷範囲に合った用紙をセットし直してください。*1 用紙先端の切り残しや切りすぎがありませんか。 → 用紙先端はミシン目に沿ってきれいに切ってください。
印刷が薄い。	インクリボンのインクが薄くなったり、波を打つような状態になっていませんか。 → 新しいインクリボンカートリッジと交換してください。
シートガイドから吸入されない。	用紙はしっかりと差し込まれていますか。 → 突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。
	ディスプレイに“シートガイド”と表示されていますか。 → [用紙選択]スイッチを何回か押してディスプレイに“シートガイド”と表示させてください。
シートガイドから曲がって吸入される。	用紙は水平にしっかりと差し込まれていますか。 → 突き当たる感じがするまで、用紙を水平にしっかりと差し込んでください。
	ペーパガイドの位置は正しいですか。 → ペーパガイドを正しくセットしてください。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 → 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください（「付録　用紙の規格（73ページ）と印刷範囲（78ページ）」参照）。
シートフィーダ使用時、カット紙が吸入されない。	ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されていますか。 → [用紙選択]スイッチを何回か押してディスプレイに“シートフィーダ”と表示させてください。
	用紙が正しくセットされていますか。 → 用紙をセットし直してください。
シートフィーダ使用時、カット紙がうまく送れない。	セットする用紙が多すぎませんか。 → セットする枚数を減らしてください。ホッパに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64.0g/m^2（連量55kg）の用紙の場合、最高280枚です。封筒は最高25枚です。
	スタッカに用紙がたまりすぎていませんか。 → スタッカの印刷済み用紙を取り除いてください。スタッカ部に一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64.0g/m^2（連量55kg）の用紙で100枚以下です。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 → 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください（「付録　用紙の規格（73ページ）と印刷範囲（78ページ）」参照）。
連続紙が吸入されない。	用紙がトラクタから外れていませんか。 → 用紙をトラクタに正しくセットしてください。
	ディスプレイに“フロントトラクタ”または“リアトラクタ”と表示されていますか。 → [用紙選択]スイッチを何回か押して、ディスプレイに“フロントトラクタ”または“リアトラクタ”と表示させてください。

*1　MSW4-1 が OFF の場合、用紙上の印刷範囲外の印刷は自動的にカットされます。

プリンタの症状一覧（3 / 3）

症　状	確認と処置
連続紙が曲がって吸入される、またはプリンタの中で引っかかってしまう。	用紙の穴がトラクタピンに正しくかみ合っていますか。左右でずれていませんか。 → 用紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合うようにセットし直してください。
	左右のトラクタの間隔が狭いために用紙がたるんでいませんか。 → 左右どちらかのトラクタを動かして、用紙のたるみをとってください。
	セットした用紙のストック分は正しい位置に置かれていますか。 → 用紙のストック分は連続紙セット位置に対して鉛直線上に、プリンタ本体と平行になるように置いてください。
	用紙のストック分を置いてある位置がプリンタから遠すぎませんか。 → 用紙のストック分はプリンタから1m以内に置いてください。
	用紙が何かに引っかかっていませんか。 → 用紙が引っかかっているものを取り除いてください。
	用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください（「用紙の規格」（73ページ）または「印刷範囲」（78ページ）参照）。
	改ページ動作の時だけ用紙がひっかかっていませんか。 → 改頁実行時のセンタリング動作（MSW3-6）を切り替えてお試しください。
ミシン目スキップがずれてしまう。	用紙長の設定が使用している用紙の用紙長に合っていますか。 → 連続紙の用紙長を正しく設定してください（「メニューモード」（42ページ）またはソフトウェアマニュアル参照）。
用紙の吸入量が大きい。	印刷ヘッドのセンタリング位置と用紙のセット位置は合っていますか。 → 使用している用紙に合わせて印刷ヘッドのセンタリング位置を変更してください（「スペシャルメニューモード」（44ページ）参照）。
印刷の途中で排出してしまう。	用紙長の設定が使用している用紙の長さに合っていますか。 → 用紙長を正しく設定してください（「メニューモード」（42ページ）またはソフトウェアマニュアル参照）。 → 用紙切れ判断の切り替え（MSW5-5）を切り替えてお試しください。
	プラテンノブを回して用紙を吸入していませんか。 →［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入してください。

以上のことを確認して、それぞれの処置を行っても症状が改善されない場合は、お近くの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口にご相談ください。

紙づまりの処理

紙づまりの発生が考えられる場所はシートガイドの用紙吸入部と、フロントペーパガイドユニットの部分です。

⚠注意

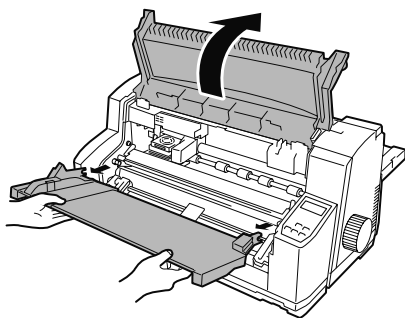
- 用紙がプリンタ内部につまったときは、必ず電源をOFFにして電源コードのプラグをコンセントから抜いてから、つまった用紙を取り除いてください。電源がONのまま装置内部に手を入れると、プリンタが突然動作してけがをするおそれがあります。
- 電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると、コードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

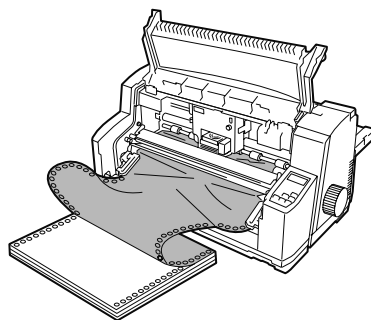
用紙がプラテンやその周囲につまって取り除けない場合は、つまった用紙を無理に引っ張ったりせず、次の手順に従って用紙を取り除くようにしてください。

❶ **プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜く。**

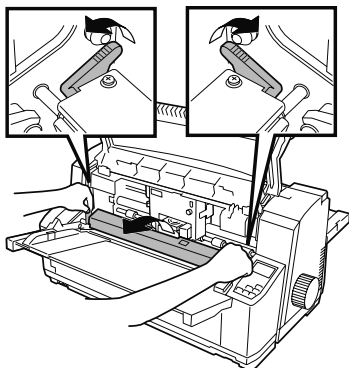
印刷途中の場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、送ったデータが消失します。つまった用紙を取り除いた後、再度データを送り直してください。

❷ **トップカバーを開ける。**

❸ **シートガイドを取り外す。**

❹ **つまった用紙を取り除く。**

軽く引いても用紙が取り除けないときは、次の方法で取り除きます。

⚠注意

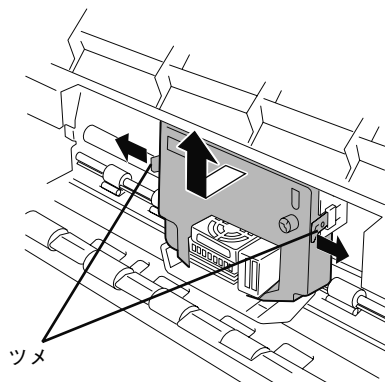
長時間印刷を続けた直後は、印刷ヘッドおよび装置内部が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから用紙を取り除いてください。

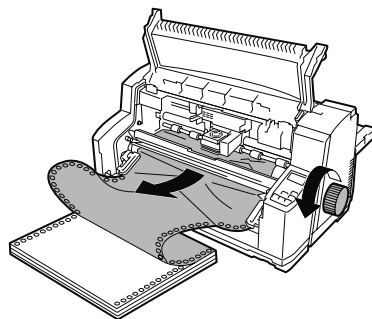
1 **フロントペーパガイドユニットを開ける。**

2 **インクリボンカートリッジを取り外す。**

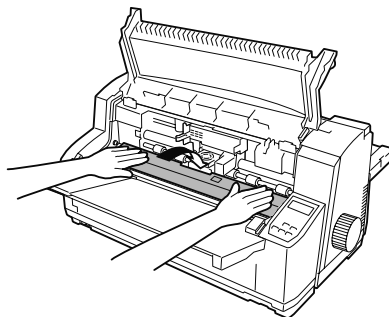
中央にインクリボンカートリッジが無い場合は、印刷ヘッドをインクリボンカートリッジごと手で中央へ移動します。

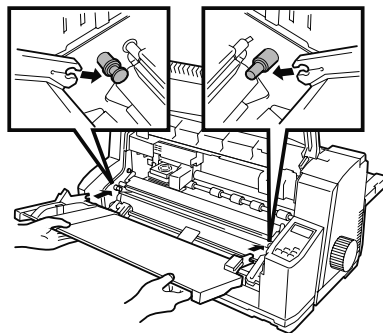
チェック

インクリボンカートリッジがつまった用紙に引っ掛かり中央へ移動しない場合は、無理に移動させたり取り外したりしないでください。

カートリッジホルダの左右にあるツメを軽く開きながら、インクリボンカートリッジを手前に取り出し、真上に取り外します。

3 **プラテンノブを回しながら用紙を取り除く。**

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないことを確認してください。

4 **インクリボンカートリッジを取り付け、フロントペーパガイドユニットを閉める。**

開けたままでは用紙を送ることはできません。

5 **シートガイドを取り付ける。**

プリンタ本体の左右のスタッド（突起）にシートガイドを取り付けます。

6 **トップカバーを閉める。**

保証および修理の依頼について

お客様登録の方法

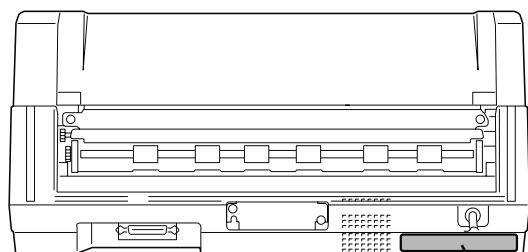
お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録についてはプリンタに添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

保証について

MultiImpact 700シリーズには『保証書』が付いてます。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」(64ページ)をご覧のうえ、MultiImpact 700シリーズをお買い求めになった販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘版の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。

5 故障かな?と思ったときは

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されていることを確認する。

② インクリボンカートリッジの取り付けが確実に行われていることを確認する。

③「エラー表示が出ているときは」（56ページ）、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（58ページ）を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」をご覧のうえ、保守サービスをご利用ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。

- 電話をする際、液晶ディスプレイの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の液晶ディスプレイの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンタをお持ち込みいただくときは「プリンタを運搬するときは」（66ページ）の手順に従ってプリンタを梱包してください。

保守サービスについて

プリンタの問題はプリンタ自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおり処置を行っても、なお問題が解決しない場合はプリンタに添付のNECサービス網一覧表をご覧いただき、保守サービスをご利用ください。

プリンタの寿命について

本プリンタの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。

有寿命部品（有償）について

プリンタの機能・性能を維持するために交換＊[1]を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）＊[2]は、印刷ドット数によって設定されています。本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次のとおりです。

プリンタ本体用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊2
印刷ヘッド	3億ドット/ピン

オプションのシートフィーダ用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊3
ラバーホルダL ASSY	給紙機能・性能が維持できなくなり始めた場合

＊1　有寿命部品（有償）の交換は、サービス担当者に依頼してください。

＊2　NEC 純正インクリボンを使用し、15 × 11 インチ用紙（坪量 64g/m^2 の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。
お客様がドット / ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。
文字換算：漢字 5000 万字、NHS パイカ 10000 万字
55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

＊3　給紙動作を繰り返すことで摩耗劣化する部品が使用されています。
この部品のゴムダンパ部分の厚みが規定値以下になると、用紙吸入ミスや重送、ピックミスなどが発生しやすくなります。このような状況になった場合、もしくは目立ち始めたときが交換時期となります。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

補修用性能部品について

本プリンタの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

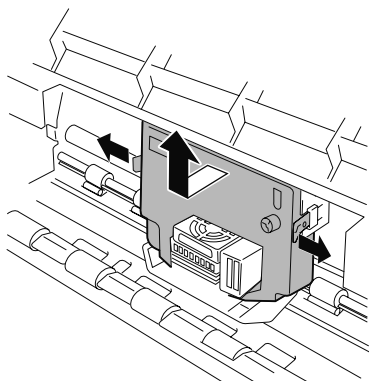
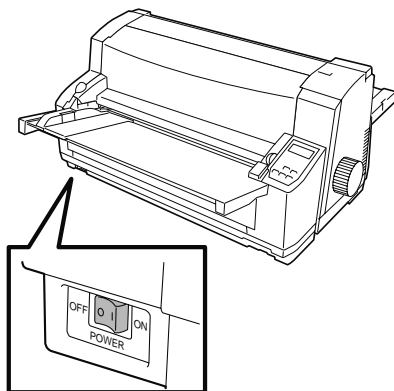
インターネットの Web ページ	NEC コーポレートサイト（http://www.nec.co.jp/）

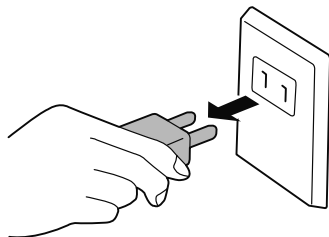
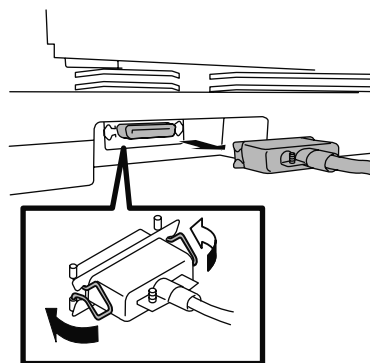
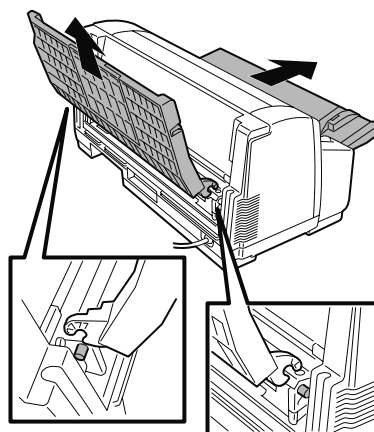
プリンタを運搬するときは

本プリンタを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、運搬時の衝撃からプリンタを守るために、お買い上げ時にプリンタを梱包していた包装材を使い梱包してください。

⚠ 注意　MultiImpact 700シリーズは本体だけで約23kgあります。一人で持つと腰を痛めることがありますので、運搬するときは二人で持つようにしてください。

1 インクリボンカートリッジを取り外す。

「インクリボンカートリッジの交換」（51ページ）を参照してください。

2 プリンタの電源スイッチをOFFにする。

3 電源コードのプラグをコンセントから抜く。

抜くときは、プラグを持って電源コードを抜いてください。

4 プリンタケーブルを取り外す。

5 シートガイドとスタッカを取り外す。

6 オプションを外す。

オプションを取り付けていれば、取り外してください。取り外し方はオンラインマニュアルをご覧ください。

7 梱包する。

カートリッジホルダに印刷ヘッドを保護していた段ボールのパッドと、梱包材を取り付けてプリンタおよび付属品を箱に入れます。

これでプリンタを運搬する準備ができました。

プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

プリンタの廃棄について

プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。
また、NECでも法人のお客様に販売したプリンタを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンタを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。

詳しくは、http://www.nec.co.jp/eco/ja/ をご覧ください。

プリンタの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンタに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因になることがあります。

インクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

NECでは、資源の有効活用と地域環境保全を目的に使用済みのNEC製インクリボンカートリッジ、インクリボンの回収を行っております。
詳しくは、http://www.nec.co.jp/eco/ja/ をご覧ください。

お近くにNECサービス窓口がない場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

付録

仕様

- 印刷方式　インパクトドットマトリックス方式
- 印刷ヘッドワイヤ数　24本（縦ピッチ　1/160インチ）
- 印刷ヘッドワイヤ径　φ0.2mm
- 解像度　約6.3 ドット/mm（160DPI）
- 印刷桁数と印刷速度

文字種				印刷桁数／行	700XA/700XAN		700JA/700JAN	
					印刷速度／秒＊１,＊２	高速印刷速度／秒＊１,＊２	印刷速度／秒＊１,＊２	高速印刷速度／秒＊１,＊２
ANK（英数カナ）	パイカ	HS	NHS	136字	389字	389字	269字	269字
		HD		136字	195字	389字	135字	269字
	コンデンス			233字	441字	441字	308字	308字
	エリート			163字	207字	415字	143字	286字
	プロポーショナル			最大362	207～519字	415～1,037字	144～359字	287～718字
CG グラフィック	パイカ	HS	NHS	136字	389字	389字	269字	269字
		HD		136字	195字	389字	135字	269字
	コンデンス			233字	441字	441字	308字	308字
	エリート			163字	207字	415字	143字	286字
	プロポーショナル			136字	195字	389字	135字	269字

文字種			印刷桁数／行	700XA/700XAN		700JA/700JAN	
				印刷速度／秒＊1,＊2	高速印刷速度／秒＊1,＊2	印刷速度／秒＊1,＊2	高速印刷速度／秒＊1,＊2
漢字（全角）	10.5P、3/20インチ幅		90字	130字	259字	90字	179字
	10.5P、1/5インチ幅		68字	97字	195字	67字	135字
	9.5P相当、1/6インチ幅		81字	104字	207字	72字	143字
	9.5P相当、2/15インチ幅		102字	141字	283字	89字	179字
	7P相当、1/10インチ幅		136字	129字	257字	90字	179字
	12P相当、1/6インチ幅		81字	104字	207字	72字	143字
グラフィック	8ビット	コピーモード	1088ドット	778字＊3	778字＊3	538字＊3	538字＊3
		ネイティブモード	2176ドット	389字＊3	778字＊3	269字＊3	538字＊3
	16ビット		2176ドット	195字＊4	389字＊4	135字＊4	269字＊4
	24ビット		2176ドット	130字＊5	259字＊5	90字＊5	179字＊5

＊1　ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）を使用した場合の印刷速度
＊2　厚い用紙や複写枚数の多い用紙を使用した場合は、印刷速度がその枚数に応じて遅くなる場合があります。
＊3　横ドット数が 8 ドット／字のとき
＊4　横ドット数が 16 ドット／字のとき
＊5　横ドット数が 24 ドット／字のとき

- 印刷方向　両方向最短距離印刷および片方向印刷
- 混在印刷　同一行の混在についてはドット間隔の相違により数回に分けて印刷する
- 改行幅　4.233mm（1/6インチ）、3.175mm（1/8インチ）、および0.212×n mm（n/120インチ（n＝0～99））
- 改行時間　約45ms（4.233mm（1/6インチ）改行時）
- 改行方向　順方向および逆方向
- 最小改行量　0.212mm（1/120インチ）
- 用紙送り方式
  - シートガイド
  - フロントトラクタフィーダ
  - シートフィーダ（オプション）
  - リアトラクタフィーダ（オプション）
- 用紙厚調整　自動またはメニューによるマニュアル指定
- インクリボンカートリッジ

品　名	可能印刷数	
	NHS パイカ	漢　字
ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）	約700万字	約300万字
カラーインクリボンカートリッジ	約100万字	約50万字

お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

- インタフェース　IEEE1284準拠双方向パラレル
イーサネット（100BASE-TX/10BASE-T）＊6

＊6　MultiImpact 700XAN/700JANのみ標準装備。

- 使用コード　　一 8ビットコード＊[1]
一 7ビットコード＊[1]
一 漢字コード

*1　メモリスイッチの切り替えによります。

- 環境

動作温度：	5℃〜38℃
動作湿度：	10%〜85%（ただし結露しないこと） （シートフィーダ使用時は45%〜70%）
保管温度：	−25℃〜60℃＊[2]
保管湿度：	0%〜90%
塵埃量、ガス成分：	一般事務室程度

*2　開梱後の状態での保管条件は、0〜40℃の環境で1年以内とします。使用時は使用場所の環境に十分なじませてください。

- 電源　　100V±10%、50／60Hz共用±1Hz
- 定格電流　　MultiImpact 700XA/700XAN：2.8A
MultiImpact 700JA/700JAN：1.4A
- 質量　　約23kg
- 寸法　　幅 600mm×奥行 320mm×高さ 297mm
（プラテンノブ、シートガイド、スタッカ含まず）
- 消費電力

消費電力	MultiImpact 700XA	MultiImpact 700XAN	MultiImpact 700JA	MultiImpact 700JAN
動作時最大（プリンタ単体）	210W（280VA）	210W（280VA）	110W（140VA）	110W（140VA）
動作時最大（フルオプション時）	230W（330VA）	230W（330VA）	120W（152VA）	120W（152VA）
動作時平均（プリンタ単体）	130W	130W	85W	85W
待機時（スタンバイ時）（プリンタ単体）＊[1]	13W（23VA）以下	14W（24VA）以下	9W（14VA）以下	12W（18VA）以下
電源スイッチOFF時＊[2]	0W	0W	0W	0W

＊1　1 分以上（工場出荷時）、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、待機モード（スタンバイ状態）になります。
＊2　電源スイッチにはメカニカルスイッチを使用しています。

- 騒音　　60dB以下（A補正）（測定はISO7779による）
- 製品寿命　　使用年数5年＊[3]

*3　製品寿命の5年を越えて使用される場合、または使用量が使用年数5年相当を超えて使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください。

- 有寿命部品（有償）

プリンタ本体用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊[1]
印刷ヘッド	3億ドット/ピン

[*1] NEC純正インクリボンを使用し、15×11インチ用紙（坪量64g/m^{2}の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。
お客様がドット/ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。
文字換算：漢字5000万字、NHSパイカ10000万字
55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

オプションのシートフィーダ用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊[2]
ラバーホルダL ASSY	給紙機能・性能が維持できなくなり始めた場合

[*2] 給紙動作を繰り返すことで摩耗劣化する部品が使用されています。
この部品のゴムダンパ部分の厚みが規定値以下になると、用紙吸入ミスや重送、ピックミスなどが発生しやすくなります。このような状況になった場合、もしくは目立ち始めたときが交換時期となります。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

- 製品保守（修理業務）

本製品の保守および修理業務は、製品出荷停止後5年間です。その後の保守および修理業務は打ち切りとなります。

用紙の規格

用紙サイズと坪量

用紙は次のものを使用してください。坪量（g/m^2）は1m^{2}の質量をグラムで示したものです。

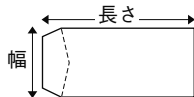
用紙の種類	サイズ	坪量（連量）または用紙の厚さ
	連続紙＊1	
普通紙	101.6～406.4mm（4～16インチ）	46.5～157.0g/m^2 （40～135kg相当）
複写式用紙 ● 感圧紙 ● 裏カーボン紙 ● ワンタイムカーボン紙	101.6～406.4mm（4～16インチ）	「複写枚数と坪量（連量）」（75ページ）を参照
ラベル紙＊2	101.6～406.4mm（4～16インチ）	0.2mm以下（台紙含む）
	カット紙＊1	
普通紙 複写式用紙	定型サイズ： A5、B5、A4、B4、A3 定型外サイズ： 幅55～420mm×長さ90～420mm＊3 （幅2.16～16.5インチ×長さ3.5～16.5インチ）＊3	46.5～157.0g/m^2 （40～135kg＊4 相当）
	はがき＊1	
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m^2（135kg相当）
折り目のない往復はがき	幅200mm×長さ148mm	
	封筒＊1，＊5	
長形4号	幅90mm×長さ205mm	50～85g/m^2
長形3号	幅120mm×長さ235mm	50～85g/m^2
角形3号	幅216mm×長さ277mm	70～85g/m^2
角形2号	幅240mm×長さ332mm	70～120g/m^2
洋形2号＊6	幅114mm×長さ162mm	70～85g/m^2
洋形5号＊6	幅95mm×長さ217mm	70～85g/m^2

＊1　再生紙が使用可能です。

＊2　ラベル紙の材質が紙以外の「合成紙」「PET 紙」などはインクがのりませんので、使用しないでください。

＊3　オプションのシートフィーダ使用時は、定形外サイズ幅 55 ～364mm ×長さ 90 ～ 297mm（幅 2.16～ 14.3 インチ×長さ 3.5 ～ 11.7 インチ）となります。

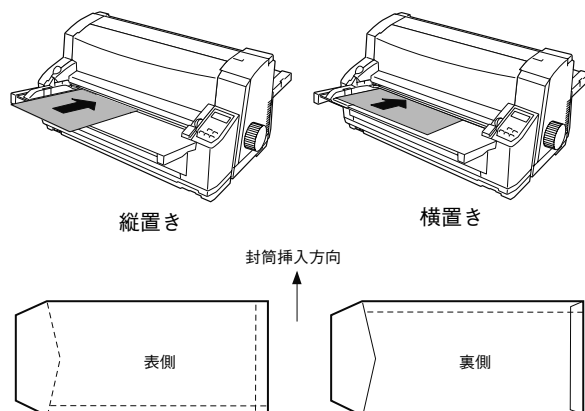
＊4　オプションのシートフィーダ使用時は、坪量 64.0 ～ 157.0g/m^2（連量 55 ～ 135kg 相当）となります。

＊5　封筒のサイズ

＊6　シートフィーダではご使用になれません。

折り目のある往復はがきは印刷できません。

付録

用紙のセット方向

- 「印刷範囲」（78ページ）を参照してください。
- シートガイドおよびシートフィーダ使用時の取り扱い可能な定型用紙は次のとおりです。
  複写式用紙の場合は、縦置き、横置きにかかわらず、のり付け部分から先にセットして吸入させます。

印刷方法	使用方向	用紙サイズ					封筒	名刺
		A3	B4	A4	B5	A5		
シートガイド使用時	縦置き	○	○	○	○	○	×	○
	横置き	○	○	○	○	○	○*1	×
シートフィーダ使用時	縦置き	×	×	○	○	○	×	○
	横置き	×	○	○	○	○	○*1	×

*1　詳細は 82 ページをご覧ください。

用紙の種類と複写枚数

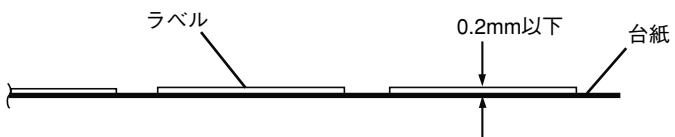
セットできる用紙の種類と複写可能枚数は次のとおりです。

用紙の種類	給紙方法	印刷用紙*1	最大複写枚数（オリジナルを含む）
カット紙	シートガイド	上質紙*2	1
		複写式用紙（感圧紙）	9 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		はがき	1
		ラベル紙*3	1
		封筒	1
	シートフィーダ*4 （オプション）	上質紙*2	1
		複写式用紙（感圧紙）	5 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		はがき*5	1
		封筒	1
連続紙*6	フロントトラクタフィーダ リアトラクタフィーダ （オプション）	上質紙*2	1
		複写式用紙（感圧紙）	9 「複写枚数と坪量（連量）」参照。
		ラベル紙	1

＊1　プレプリント用紙において、パウダなどの付着があると用紙走行に支障をきたす場合がありますので、注意してください。

＊2　再生紙または A3 サイズの用紙は一般室温の環境下で使用してください。また紙質によってはインクのにじみや紙づまりや印刷汚れが発生することがあります。その場合は紙質の良いものに変更してください。

＊3　ラベル紙の規格

名　称	紙　質	紙　厚	
ラベル	上質紙	0.1mm以下	坪量81.4g/m2（連量70kg）以下に相当する
台　紙	グラシン紙またはクラフト上質紙	0.1mm以下	坪量81.4g/m2（連量70kg）以下に相当する

- ラベルと台紙の厚さの合計を 0.2mm 以下にしてください。
- ラベルと台紙の紙厚の組み合わせは、ラベル≦台紙となるようにしてください。
- 使用できるタック紙の寸法は、連続紙と同じです。

＊4　シートフィーダはラベル紙（タック紙）を使用できません。

＊5　シートフィーダで、はがきなどの厚紙を頻繁に使用すると、用紙吸入部の摩耗が普通紙使用時に比べて早まる場合があります。

＊6　坪量 46.5g/m^2（連量 40kg）の連続紙は 10℃以上の環境下で使用してください。

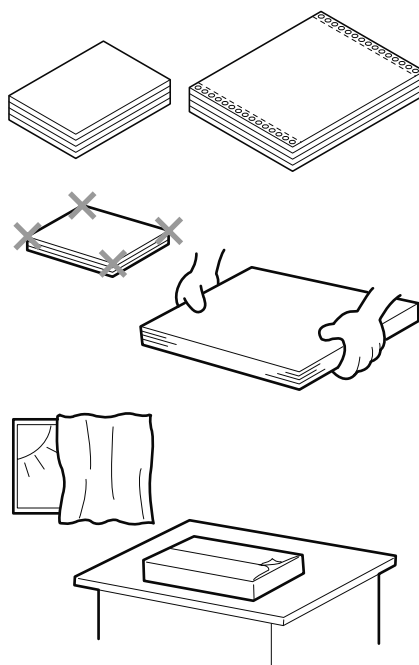
複写枚数と坪量（連量）

複写枚数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	坪量（g/m^2）（連量（kg））								
1枚目	46.5～157.0 (40～135)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)
2枚目	—	50.0～81.4 (43～70)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
3枚目	—		50.0～81.4 (43～70)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
4枚目	—			39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
5枚目	—				39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
6枚目	—					39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
7枚目	—						39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
8枚目	—							39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)
9枚目	—								39.5～50.0 (34～43)

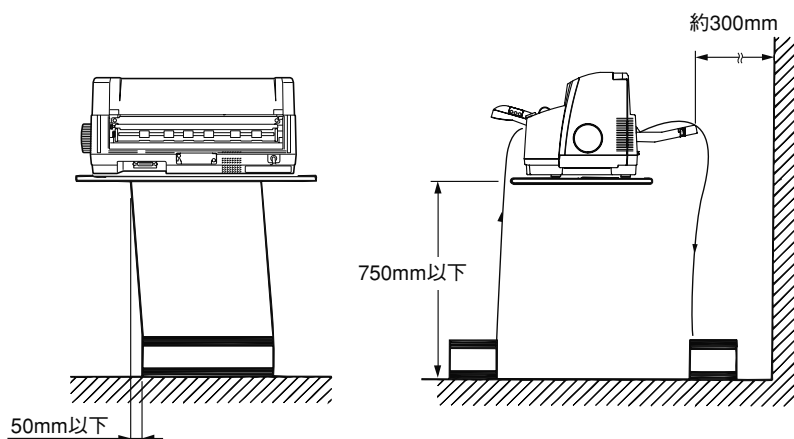
- 複写枚数はオリジナル（1枚目）を含めます。
- オリジナル（1枚目）はリボンのインクを急速に吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写紙の2枚目以降は、ノーカーボン紙または裏カーボン紙を使用してください。
- 使用できるカット紙の厚さは複写式用紙で約0.54mmまでです。
- 推奨規格を超える厚さの用紙を使用する場合やシートフィーダから用紙が重なって吸入された場合は、用紙ジャムが発生し、印刷不可（ディセレクト）状態になる場合があります。
推奨規格内の厚さの用紙を使用し、シートフィーダに用紙をセットする場合は、よくさばいて、上下左右を揃えてください。

- バーコード領域は反射率80%以上の白色で、染み・汚れ・しわなどのない用紙を使用してください。
- バーコード使用時は、坪量81.4～157.0g/m^2（連量70～135kg）の用紙を使用してください。
- 複写用紙の途中に厚紙を挿入した場合、それより下層の用紙は印刷濃度が薄くなりますので注意してください。
- 複写用紙の途中に、はがきなどが含まれている場合、厚さに段差が生じ、印刷汚れや印刷かすれなどが発生することがありますので注意してください。

保管上の注意

- 印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「用紙の規格」（73ページ）で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。
- 用紙を持つときは角を持たずに中央部分を持つようにしてください。角を持つと用紙が折れて紙づまりの原因になります。
- 残った用紙は包装紙に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように、平らな場所に置いてください。

連続紙の置き方

- 給紙および排出した連続紙は、プリンタの底面から下方向に750mm以内でスタックしてください。
- 連続紙は、プリンタの用紙走行経路と用紙の流れが一致するように（プリンタの用紙吸入口と用紙の先端が平行になるように）置いてください。左右方向のずれは50mm以下にしてください。
- リアトラクタフィーダの場合は、プリンタ後部と机の縁を合わせてください。
- リアトラクタフィーダ、フロントトラクタフィーダを併用する場合、プリンタの前部と机の縁とを合わせてください。
- プリンタの後部は印刷後の用紙スペース確保のため、壁から300mm以上離してください。

- プリンタケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。

封筒に印刷するときの注意

封筒に印刷するときは、次のことに注意してください。

- 封筒はペーパガイドに沿って、まっすぐセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん封筒を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになっていると、封筒は自動吸入されません。この場合は封筒をセット後、［吸入/退避］スイッチを押して封筒を吸入させてください。
- 封筒の両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- 封筒への印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70％の場所で行ってください。
- フラップ部は曲げないでセットしてください。
- フラップ部の大きさと印刷位置に合わせてペーパーガイド位置を調整してください。
- フラップ部や重ね合わせの部分など、段差がある位置には印刷しないでください。

印刷範囲

カット紙

符号	項　目	推奨印刷範囲		最大印刷範囲＊1
		シートガイド	シートフィーダ	
A	用紙幅	55～420mm (2.16～16.5インチ)	55～364mm (2.16～14.3インチ)	─
B	用紙上端から第1印刷行までの距離 用紙吸入位置（工場設定）	9.73mm以上（文字下端） 9.73±1mm（文字下端）	9.73mm以上（文字下端） 9.73±2mm（文字下端）	0mm ─
C	用紙下端から最終印刷行までの距離	6.3mm以上のこと	6.3mm以上のこと	3mm
D	用紙長	90～420mm (3.5～16.5インチ)	90～297mm (3.5～11.7インチ)	─
E＊2	用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	6.3mm以上のこと （文字中央）	6.3mm以上のこと （文字中央）	1.5mm＊3 （文字左端）
F＊2	用紙右端から最終桁目印刷位置までの距離	6.3mm以上のこと （文字中央）	6.3mm以上のこと （文字中央）	1.5mm＊3 （文字右端）
G	用紙上端から文字上端までの距離	6.3mm以上のこと （文字中央）	6.3mm以上のこと （文字中央）	0mm＊4 (3.8mm(文字下端))

＊1　最大印刷範囲で印刷した場合、印刷精度が保証できないだけでなく、用紙づまりや印刷ヘッドの損傷等が発生する場合がありますので、十分ご確認の上ご使用ください。印刷は推奨印刷範囲で行うことをお勧めします。

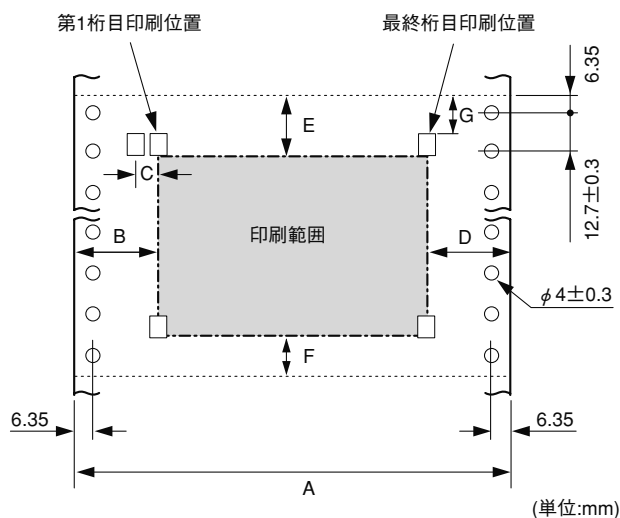
＊2　A3横サイズ用紙を使用する場合、E・F寸法は約38.6mmとなります。

＊3　用紙端から1.5mmの範囲の印刷は自動的にカットされます。

＊4　プリンタドライバで「上余白0」、「余白0」を使用する際は吸入位置を3.8mmにしてください。（43ページ参照）

カット紙に関する注意

- 用紙幅両端から6.3mmの範囲には印刷しないでください。
- 推奨印刷範囲を超える印刷については、印刷位置のバラツキ、用紙づまり、印刷ヘッドの損傷等が発生する場合があるためできるだけ避けてください。
- 用紙上端から約50mmまでおよび用紙下端から約50mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙を自動吸入した場合、用紙吸入位置は0～36mmの範囲で調整してお使いいただけますが、印刷範囲は前ページの表を参照してください。調整方法については、オンラインマニュアルの「用紙吸入位置の微調整」を参照してください。
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- 用紙の保存状態などにより用紙のカールが発生した場合は、カールを直して使用してください。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- 複写紙を手前排出（シートガイドへ排出）する際に、用紙のカールなどで用紙が折れたりする場合は後方排出固定（スタッカへ排出）にしてください。

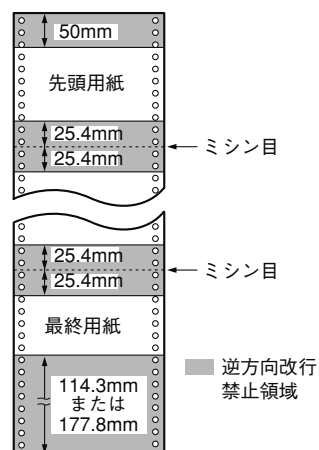
連続紙

符号	項　目	寸　法
A	用紙幅	101.6〜406.4mm（4〜16インチ）
B	左トラクタを最左端に寄せたときの用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	35mm（文字中央）
C	左トラクタを最左端および最右端に寄せたときの第1桁目印刷位置の移動量	約20mm
D	左トラクタを最右端に寄せたときの用紙右端から第136桁目印刷位置までの距離	約381mm（15インチ）幅の用紙で約25mm（文字中央）
E	ミシン目および折り目の影響による汚れおよび改行ピッチ乱れを避けるため、印刷をしないことが望ましい範囲	25.4mm（文字下端）
F		
G	ミシン目から文字上端までの距離	21.9mm（文字上端）
最終用紙下端から最終印刷行までの距離		3mm

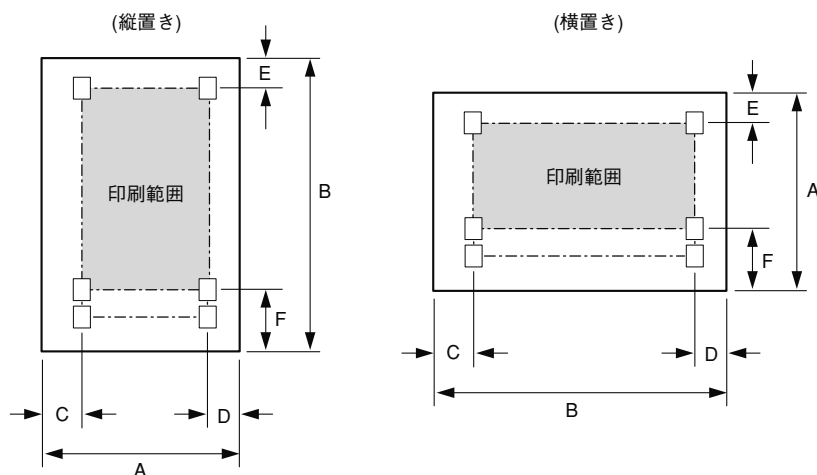
連続紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲は印刷しないでください。
- 連続紙の用紙吸入位置は25.4±2mm（文字下端・工場設定）です。用紙吸入位置は0〜36mmの範囲で調整してお使いいただけますが、印刷範囲は前ページの表を参照してください。調整方法についてはオンラインマニュアルの「用紙吸入位置の微調整」を参照してください。
- 以下の範囲内では合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などはしないでください。印刷位置がばらつくことがあります。
  - ー　用紙上端から約50mmまで
  - ー　連続紙の最後の以下の範囲内＊

フロントトラクタフィーダ	114.3mm（4.5インチ）
リアトラクタフィーダ	177.8mm（7インチ）

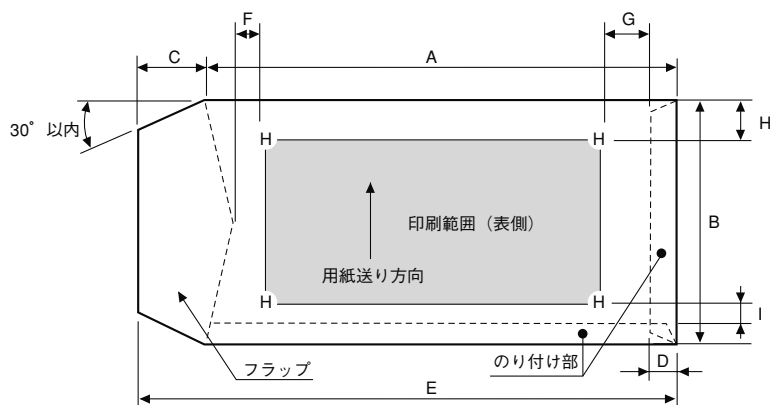
＊この範囲内は用紙穴からトラクタピンが外れてしまいます。

- 紙端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、上図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- ミシン目位置から印刷する場合は印刷精度が保証できないだけでなく、用紙づまりや印刷ヘッドの損傷が発生する場合がありますので、十分ご確認のうえご使用ください。
- プリンタドライバで「上余白0」、「余白0」を使用する際は吸入位置を3.8mmにしてください。（43ページ参照）
- リアトラクタフィーダをご使用になる際は、事前にご確認の上ご使用ください。

はがき

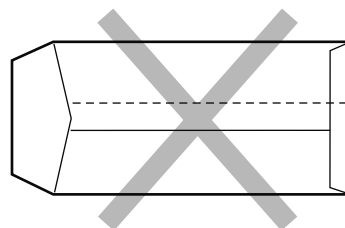
官製はがきあるいは官製はがきと同等品をお使いください。

符号	項　目	寸　法
A	はがき横幅／往復はがき横幅	100mm／200mm
B	はがき長さ	148mm
C	はがき左端から第1桁目印刷位置までの距離	6.3mm（文字中央）
D	はがき右端から最終桁目印刷位置までの距離	6.3mm（文字中央）
E	はがき上端から第1印刷行までの距離	11.5mm（文字中央）
F	はがき下端から最終印刷行までの推奨距離	21.4mm（文字中央）

はがきに関する注意

- 実際のはがきに印刷する前に、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確認してください。
- 差し出し人の郵便番号欄は、はがきの印刷範囲を越えていますので印刷できません。アプリケーションをお使いの場合はご注意ください。
- はがきの保存状態などにより、はがきがカールした場合はカールを直してから使用してください。
- はがきの表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- 写真印刷されたはがきの場合、インクが転写されにくく、印刷汚れの発生やはがき走行に支障をきたす場合がありますので注意してください。
- 印刷は環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70%の場所で行ってください。

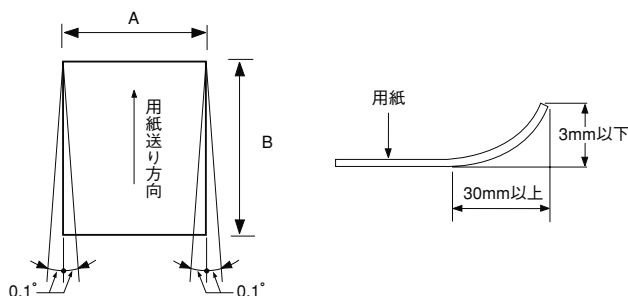
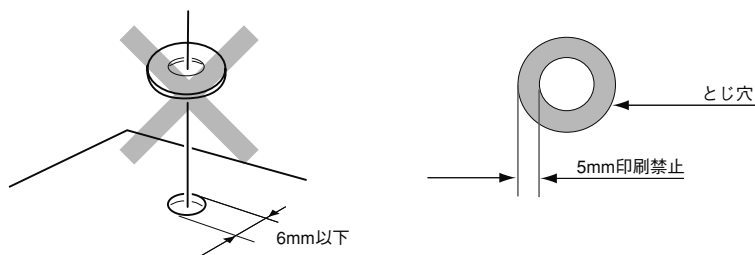
封筒

規格／寸法（mm）	A	B	C	D	E	F	G	H	I
長形4号	205	90	15～25	5～20	220～235	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
長形3号	235	120	15～25	5～20	250～260	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
角形3号	277	216	15～33	5～20	292～309	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
角形2号	332	240	15～40	5～20	347～364	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
洋形2号	162	114	15～32	5～20	347～364	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
洋形5号	217	95	15～32	5～20	347～364	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上

- 上記の表はJIS S 5502などに準拠しています。
- 寸法の公差は、長形4号･長形3号は±2.0mm、角形3号・角形2号は±2.5mm、洋形2号･洋形5号は±2mmです。
- これらの値は、シートガイドからの吸入時、シートフィーダからの吸入時ともに有効です。ただし、シートフィーダからの吸入時には洋形2号、5号はご使用になれません。
- 封筒は横貼（サイドシーム）以外の種類で、裏面中央で重ね合わせてあるもの、フラップ部にのり付けしてあるもの、二重封筒は使用できません。

- 紙質は用紙表裏面の反射率が60%以上のクラフト紙、ケント紙またはこれらの同等品以上をお使いください。
- 折れ、しわ、破れなどのない封筒を使用してください。
- 封筒の保存状態などにより封筒がカールした場合は、カールを直してから使用してください。
- 封筒の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

用紙設計に関する注意事項

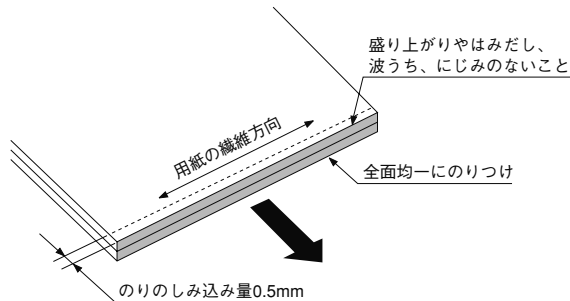
カット紙に関する注意

普通紙について

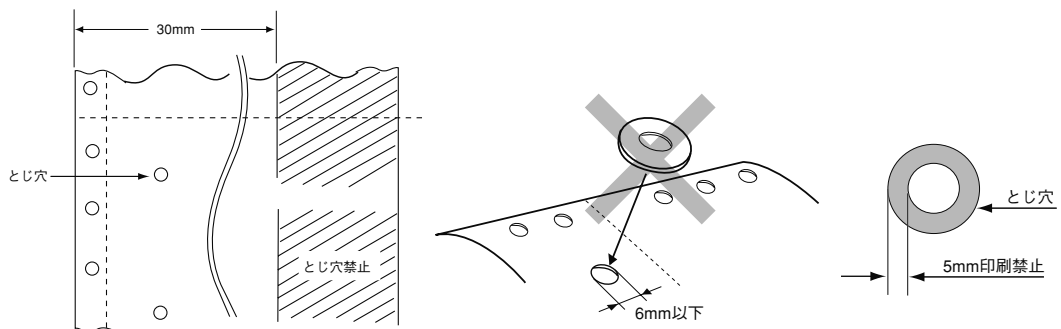
- 長方形の用紙（インデックス、切欠きのないもの）を使用してください。
- 用紙の角のカッティングやアールは45°の面とり8mmまたは半径8mm以下の用紙を使用してください。
- 横方向の切断寸法は±0.5mm以下、縦方向の直角度は±0.1°以下の用紙を使用してください。
- カール（反り）、折れ、曲がりなどのくせのない用紙を使ってください。

- 用紙の横（A）と縦（B）の長さの関係が、3:5以上（＝横の長さ／縦の長さ）、2:1以下（＝横の長さ／縦の長さ）となっている用紙を使用してください。
- 用紙の切断面は凹凸や“けば”がない用紙を使用してください。ミシン目においてカットした用紙は使用しないでください。用紙づまりの原因となります。
- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。穴を補強した用紙は使用しないでください。

- シートフィーダから吸入動作を行わせる場合は、用紙のとじ穴の“だれ”や“けば”などがない用紙を使用してください。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。

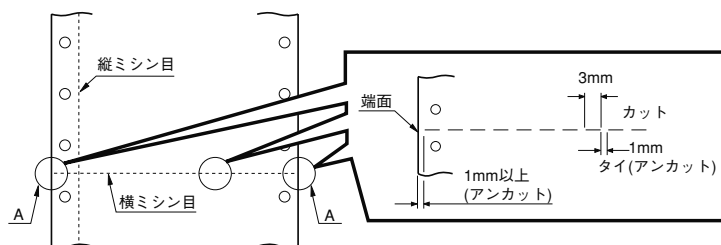
複写式のカット紙について

普通紙に関する注意の他に、次のことに注意してください。

- ノーカーボン紙（感圧紙）を使用してください。
- 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみがないものを使用してください。
- 用紙送り方向の先端を天側のり付けした用紙を使用してください。
- 綴じてある方から給紙してください。
- 複写紙の糊付け部は十分乾燥し、半乾きのない状態の用紙をご使用ください。

連続紙に関する注意

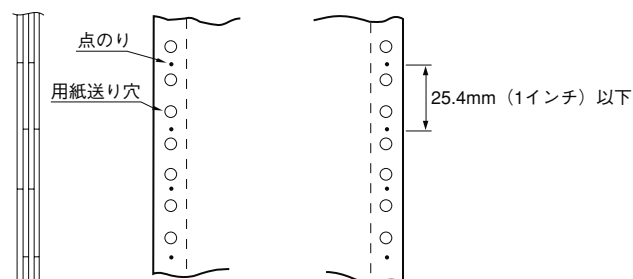
普通紙について

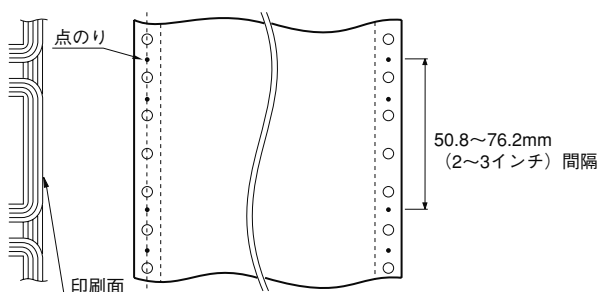
- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。
- 用紙の左側から30mm（1.2インチ）を越える位置にとじ穴を配置しないでください。用紙左側から30mmを越える位置にとじ穴加工をした用紙を使用した場合、とじ穴を用紙切れと誤検知するおそれがあります。
- とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。
- とじ穴の周囲5mm以内には印刷しないでください。リボンひっかけや印刷ヘッドの損傷およびその周辺に故障が発生する場合があります。

- 印刷範囲内で用紙を左右に分割するような縦ミシン目は入れないでください。用紙づまりが発生する場合があります。

- 次の図に示されたミシン目の入れ方をした用紙を使用してください。ミシン目の両端部Aについては、下図の寸法を守ってください。

- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のタイ（アンカット）、カット比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙フィード時にミシン目から破れて用紙フィード障害が発生する場合があります。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。

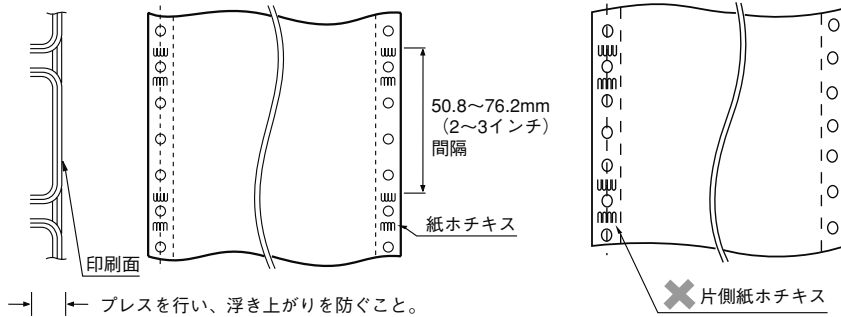
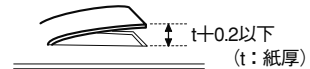
複写式の連続紙について

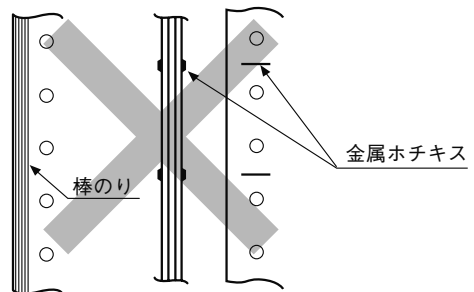
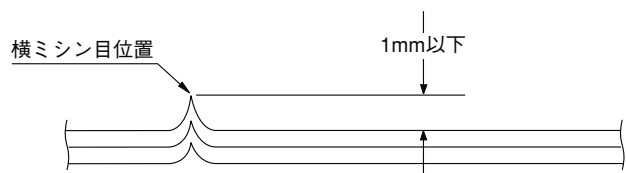
連続紙に関する注意のほかに、次のことを注意してください。

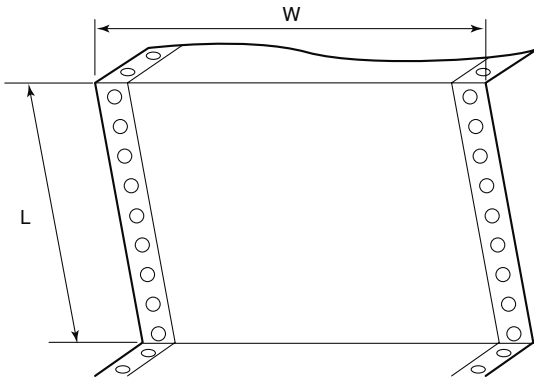
- 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写にあたっては次の要領で用紙をまとめてください。
  - 両端の用紙送り穴付近で点のりづけ（双方向改行を行う場合は必ずこのとじ方にすること）。

  - 片端の用紙送り穴付近で紙ホチキス止め、他端の用紙送り穴付近で点のりづけ。

付録

片側ホチキス止めの用紙は使用しないでください。用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホチキス止めの用紙が使用可能です。ただし、紙ホチキスは、両掛け紙ホチキス止めの用紙をご使用ください（シートフィーダ使用時は、両端点のり付け用紙を使用してください）。両端点のり方式は保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のり硬化による凹凸の「しわ」が発生することがあります。その状態で使用すると用紙ズレが起きることがあります。

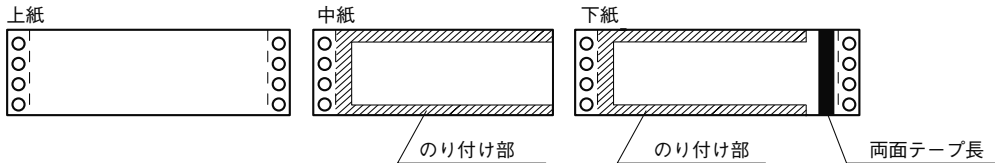
（両掛け紙ホチキス）

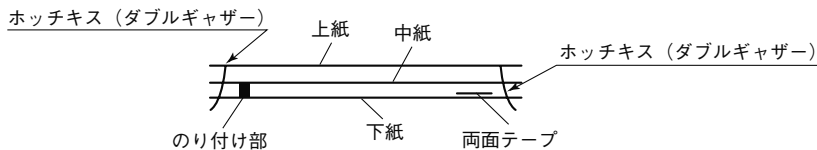
－　両端の紙ホチキス止め（ダブルギャザー）（用紙枚数2枚の場合のみ可）

- 両端紙ホチキス止めの場合、上層紙と下層紙の印刷位置ズレが発生しやすいので、片側点のり / 片側紙ホチキスを推奨します。
- 片側紙ホチキスや片側とじは使用できません。
- ミシン目の前後12.7mm（1/2インチ）以内の紙ホチキスは避けてください。
- 紙ホチキス部は、用紙が盛り上がりますので、紙厚が厚くならないように十分注意して加工してください。紙ホチキス部が厚くなると、その影響により紙ホチキス付近の印字品位が低下する場合があります。
- 紙ホチキスの加工部は右の図のようにしてください。
- 印刷面には紙ホチキスは出ないようにしてください。

－　金属ホチキスは使用しないこと。

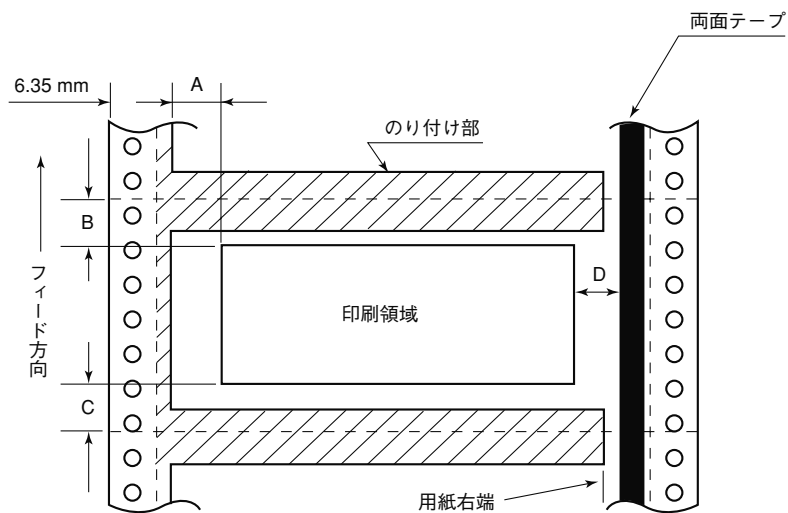
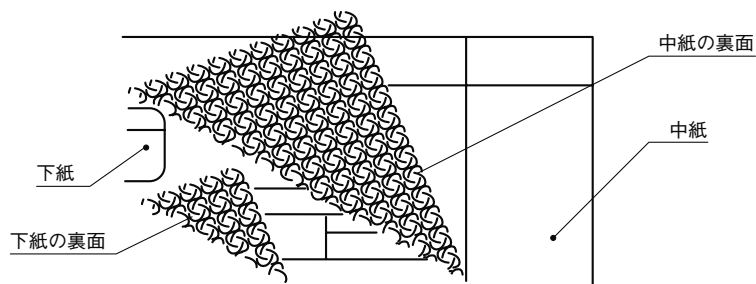
－　棒のりとじの用紙は使用しないこと。

- 横ミシン目部の盛り上がりが1mm以下の用紙を使用してください（右図参照）。
- 用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホチキス止めの場合、印刷可能です。
- 片側フリーの用紙は使用しないでください。

封筒用紙に関する注意

- 用紙の寸法

記号	寸法
W（用紙幅）	127〜406.4mm （5〜16インチ）
L（折りたたみ長さ）	101.6〜364mm （4〜14 1/3インチ）

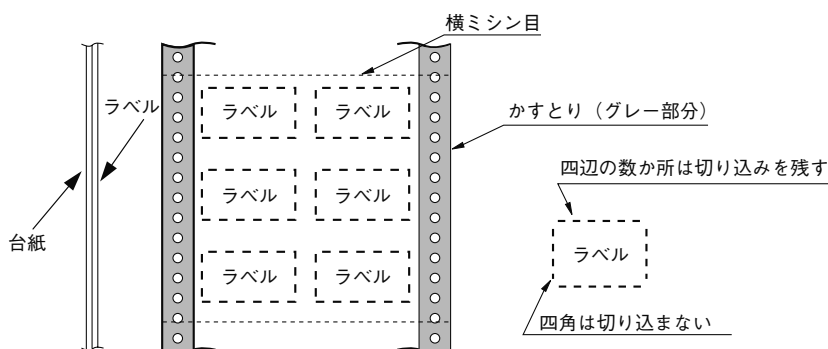
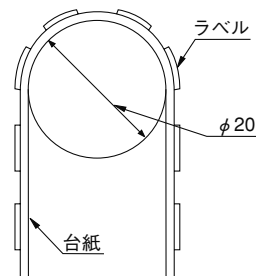
- 用紙の種類

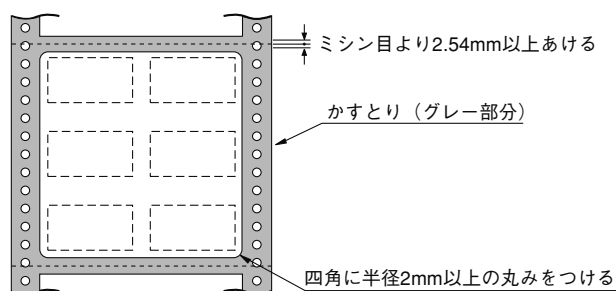
	上紙	中紙	下紙
紙質	一般の用紙	ノーカーボン紙	一般の用紙
坪量（g/m^2）（連量（kg））	34.9〜39.5（30〜34）	81.4（70）	81.4（70）

- 用紙のとじかた

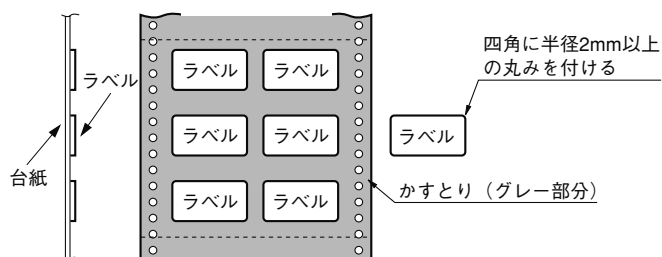
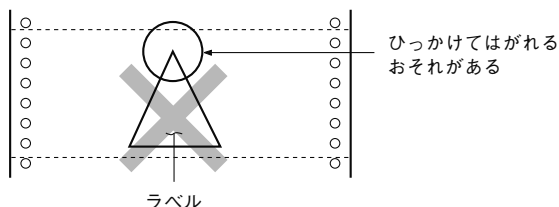
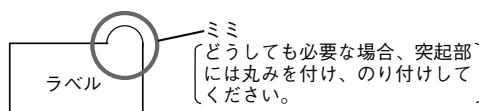
とじかた	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	ホチキス	棒のり
位置	両端	左端・上下端4.23mm（1/6インチ）

- 印刷範囲

記号	寸法
A	5.08mm以上
B	5.08mm以上
C	5.08mm以上
D	5.08mm以上

- その他の注意
  - のり付けの幅は、4.23mm（1/6インチ）以下とします。
  - のり付けによる厚み増加は、0.1mm以下とします。
  - 穴ずれは、0.3mm以下とします。
  - 両面テープは、印刷中にはがれないように接着強度が十分なものとします。
  - 給料袋などの場合は、中紙、下紙の裏面に印刷内容が外部にわからないような配慮をすることをお勧めします。

ラベル紙（タック紙）に関する注意

- ラベル紙と台紙の厚さは合計で0.2mm以下で、ラベル紙の厚さより台紙の厚さが同等か厚い用紙を使用してください。
- 直径20mmの円筒にラベルを表にして180°巻き付けたとき、ラベルが台紙からめくれたり、はがれたりしない用紙を使用してください。
- 再剥離ラベルはラベルが台紙からめくれたり、はがれる場合がありますので、お使いになる前に確認してください。
- ラベル紙は、台紙を丸めるとはがれやすくなり、はがれたラベル紙がプリンタの内部に貼り付いて正常な用紙送りができなくなりますので注意してください。

- 以下の用紙形態の用紙を使用してください。
  - 用紙穴付近のみ“かすとり”*1 したラベル紙

- ラベルシールの端は切り込みを残すこと。
- 横ミシン目にもラベルシールが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意すること。

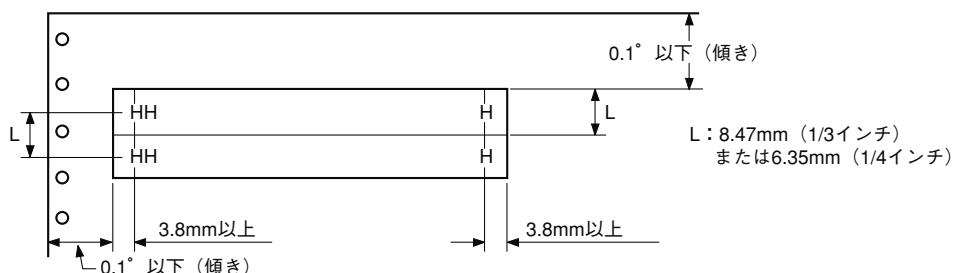
  - 用紙穴付近と横ミシン目部を「かすとり」したラベル紙

＊1　“かすとり”とは、台紙に貼り付けたラベル紙全体から必要な部分だけを残してはぎ取ることです。

– アイランド（島）状に貼られたラベル紙
– ラベル紙の角には半径2mm以上アール（丸み）を付けた用紙を使用してください。

– 三角形の頂点のように、用紙送り方向に鋭い角のある形状のラベル紙は使用しないでください。

- のりがラベルの端よりはみ出しているラベル紙は使用しないでください。
- ミシン目での盛り上がりが1mmを超えるラベル紙は使用しないでください。
- はぎ取りやすくするために、あらかじめラベル紙のコーナや端にのりを付けていないラベル紙は使用しないでください。
- “みみ”加工をしたラベル紙は使用しないでください。

プレプリント用紙に関する注意

プレプリント用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- 横罫線の印刷は8.47mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、印刷文字は行間の中心に入れるようにしてください。

行間を4.23mm （1/6インチ）にした場合は横罫線に印刷文字がかかる場合があります。

- 横罫線の傾きは用紙上端を基準として0.1°以下、縦罫線の傾きは用紙左端を基準として0.1°以下にしてください。
- 縦罫線は文字中心から3.8mm（0.15インチ）以上、離すようにしてください。

- 用紙の一部または全部の領域が黒色や濃い色でプレプリントされている場合、用紙の吸入や印刷結果が正しくならないことがありますので、黒色や濃い色でプレプリントしないでください。

索引

英数字

LANカバー 13
LANボード 10, 13, 24

ア

安全上のご注意 2
安全にお使いいただくために 1
安全にかかわる表示 ii
インクリボン 12
～の交換方法 53
インクリボンカートリッジ 12, 14, 70
～取り付け 18
～の処理 67
～の交換 51
印刷桁数 69
印刷速度 69
印刷範囲 78
印刷ヘッド 14
印刷方式 69
インタフェース 70
運搬 66
エラー表示 56
お客様登録申込書 63
オプション 10

カ

海外でのご使用 93
解像度 69
各部の名称 13
カット紙 74
印刷範囲 78
給紙方法 26
セット・吸入 32
注意事項 79
～と連続紙の切り替え 35
～に関する注意 83
排出 34
紙づまりの処理 61
カラーインクリボン 12
カラーインクリボンカートリッジ 12, 70
給紙方法 25
強制リセット 39
警告ラベル 1
コネクタカバー 14

サ

シートガイド 13, 15, 34, 74
シートフィーダ 10, 14, 74
質量 71
修理業務 72
修理の依頼 64
寿命 64
仕様 69
消費電力 71
情報サービス 65
消耗品 12
スイッチ
～の応用機能 39
～の基本機能 38
スタッカ 13, 16, 34
スペシャルメニューモード 39, 44
清掃 54
製品寿命 71
製品保守 72
設置
～してはいけない場所 8
～に必要なスペース 7
騒音 71
操作パネル 13, 37
ソケット 13

タ

タック紙 89
坪量 73, 75
ディスプレイ 40
テスト印刷 21, 39
電源 71
電源コード 13, 17
電源スイッチ 14
トップカバー 13, 14
取り扱い上の注意 6

ナ

日常の保守 51
ネットワークケーブル 24

ハ

廃棄 67
排紙ユニット 13
はがき 73
印刷範囲 81
給紙方法 26
注意事項 81

箱の中身を確認する......9
封筒......73, 77
　印刷範囲......82
　給紙方法......26
封筒用紙......87
複写式カット紙......84
複写式用紙......73
複写式連続紙......85
複写枚数......74
普通紙......73, 83, 84
プラテンノブ......13
プリンタケーブル......11, 13, 23
プリンタ卓......10
プリントサーバ......10
プレプリント用紙......90
フロントカバー......13
フロントトラクタフィーダ......14
フロントペーパガイドユニット......14
ペーパガイド......13
別売品......10
保護用部品......14
補修用性能部品......65
保守サービス......64
保証......63

マ

メニューツリー......42, 44
メニューモード......37, 39, 42
メモリスイッチ......47

ヤ

有寿命部品（有償）......65, 72
用紙
　サイズ......73
　種類......74
　セット方向......74
用紙厚調整......70
用紙カット部......13
用紙設計に関する注意事項......83
用紙排出口......13

ラ

ラベル紙......73, 89
ランプ......40
リアトラクタフィーダ......10
リセット......39, 46
リボンカートリッジセット......12
連続紙......74
　印刷範囲......79
　置き方......76
　カット......30
　給紙方法......25
　セット・吸入......27
　注意事項......80
　排出・スタック......29
　用紙設計の注意......84
　〜を取り除く......29
ロックスプリング......13
ロングライフインクリボン......12
ロングライフインクリボンカートリッジ......12, 70

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。